

第9回自然と環境講演会

52名の出席で大盛況

山本理事長の「昔の寺田村」では、24号線より東部にランドやホテル、軍需工場があったことなどが現在の住宅開発された地図に重ねて詳しく報告された。続くふれあいの駅助役の中西稔さんは、農業が人間の生命や環境保全に無くてはならない自然や森を大切に発表された。そして佐伯快勝さんは、里山の会のますますの発展に期待しているとお話があった。詳しくは会誌18号に掲載いたします。

“京田辺の最高峰へ登ろう”ハイキングコースの内覧会に25名の参加で、ルートが詳しく点検された。指摘されたのは、距離表示の大型化、大田尾交差点のコース案内看板の新設と指示看板の訂正、竹藪の上り道の改善などでした。体力的には緩やかで、適度な距離だとの感想でした。健脚組には少し物足りないようでした。**大型看板の設置** 終点の天王バス停に案内看板の設置場所を提供いただきました。三山木駅前の駐輪場と2箇所が確保されました。3箇所の予定で、残る水取の農業道路入り口の確保のみとなりました。

看板の板を高船の中川製材所さんから提供いただきました。水取の大富工務店さんにはこの板のつなぎあわせのご協力をお願いしました。肝心の地図は斉藤元二さん、同志社大学のインターンシップでこられている山村聡史さん、そして本会の藤ノ井律夫さんに描いたり、彫ったりしていただくことになりました。

8日に開かれた木津川下流河川保全利用委員会が久御山町で開催され、常務理事が参加しました。河川本来の姿に戻していくことが大切だ、として当面水辺の復元のために努力をする。そして現在スポーツ施設などに利用されているところは20%程度の返還を求め。また、そうした河川の施設を利用される人々にも河川にある生態系への悪影響を理解していただくアプローチが大切だとも強調されました。

7日に山城広域振興局で京都府温暖化防止推進委員会の説明会が開かれました。160名ほどに委嘱され、研修会への参加や、自主的な取組の報告などについて提起されました。

観察班は、4月3日の春の野草を食する会の要領について、準備と分担を決めました。

3月13日、オオムラサキの調査に行きます。午前10時普賢寺小学校前に集合して12時まで幼虫を見つけに行きます。同時にオオタカの飛翔も確認できれば幸せですね。里山の会では例年調査を続けてきましたので、計画外ですが、継続して行います。

新年度の運営に協力していただける方を募っています。観察、交流、文化、体験、庶務会計、業務に分担しています。あなたの創意が実現できるような力を合わせていただけないでしょうか。

3月度運営委員会 3月16日 午後1時
第4回理事会 3月24日 午後7時
いずれも京田辺市立中央公民館にて

会計からの連絡

05年度会費の納入をお願いします。2000円
郵便振替口座番号

00950 7 46840

通信費削減にご協力を

通信費 メール及びFAX番号を連絡ください。
FAXの方は0774-64-4183 FAX

メールの方 npo-sato@mx15.freecom.ne.jp

理事によりまして、近場は手配りをしていますが、可能な範囲でご協力をお願いします。案内連絡が、スピード化します。

堆肥の販売を始めています

1袋150円でお分けしています。
事務所までご連絡ください

3月度運営委員会から (その1)

04年度の年間参加者は昨年と殆ど同じでした。

事業で一桁の参加者をなくそうと努力を傾けた結果柿の芽摘みだけが6名でした。他の事業は全て二桁のご参加をいただきました。

来年度は里山の会結成10周年となり、理事の任期が切れますので引続き留任をお願いしてきましたが、3名の退会と2名の理事辞任の表明がありました。

来年度事業計画を検討しました、殆ど同じ内容で取り組む方向を確認しました。

社員・会員の方々からのリクエストをお待ちしています。このような事業をとリクエストください。

毎週木曜日午前10時から正午まで本会事務所にてパソコン学習会をしています。気軽にお越しください。みなさんのお越しをお待ちしています。

白木さんがハイキングマップの地図を完成させていただきました。国土地理院の地図を背景にルートを示して14箇所
の解説を挿入し、本格的なマップが出来上がりました。表紙は木元さんにイラスト描いていただきます。4ページ
には交通アクセスと里山の会案内、そしてコース設立にご協力いただいた方々のご芳名を記しています。そしてこの
コース利用者への正しいマナーをお願いしています。

特にゴミの持ち帰り、通路以外への進入禁止、火気厳禁を呼びかけています。

そして維持管理のためのご協力一口500円の応募を訴えています。

亀岡津軽俊介先生から亀岡の自然が贈呈いただきました。事務所にございますので一度ごらんになってください。いつも
ものことながら、見事な写真が使われていて、目を見張るものがあります。解説も懇切丁寧に載せられていて、学術研究
の結果が見事に結実しています。

そして、この調査にかかわられてきた方がすばらしく大勢係わっておられるところも丁寧にされていて、先生の心配り
のすばらしさも見られます。

大富工務店さんがすばらしい贈り物

ハイキング案内看板の作製をお願いしておりました。出来上がった製品は、そば打ちや大型調理台に使用できるほど美
しくすばらしいできばえです。「これを看板にすれば相当な値打ちがする」。「この大工さんなら仕事を頼んでもいい
」など、それぞれが感銘を受けました。(90×180cm) 見栄えのする大きさです。

事務所の活用についての提案

会員ならどなたでも気軽に集えるようにしてはどうでしょうか、たとえば野の花を見てきて、帰り道に事務所で「絵」
に描いて帰るなどの場所にしてみたいなあと思っています

新年度事業方針予算案の原案審議

3月21日 (月)午後1時より

本会事務所

召集範囲 新年度理事就任予定者

社員会員からのご提案を受け付けています。

第4回理事会

3月24日 午後7時より

京田辺市立中央公民館

春の野草を食する会 参加者募集

4月3日 (日)

場所 田辺木津川運動公園テニスコート横

集合 近鉄新田辺駅西口 (午前10時)

又は、現地

申込み ハガキ又はFAX 当日も歓迎

610-0331京田辺市田辺深田15

0774-64-6183

持ち物 弁当 水筒 はさみ 飲物

京田辺市環境セミナー開かれる

ごみ減量化と有料化の動きについての講演会は京都府立大学の山川肇講師の講演で湯川、西田、山村が参加されていました。1900年に汚物掃除法で市などに清掃、ゴミ処分の義務が生じた。1935年ごろに基礎的・必需的なサービスだから税でまかなうべきという考えに変わってきている。1941年にゴミ収集手数料の徴収が可能に、1970年の廃棄物処理法の制定頃に手数料を徴収しない市が増えた。そして最後にゴミ有料化については、導入までに住民合意が大事で、導入決定前に地域住民の声を反映させる場の設定が必要と強調された。

午後では京都精華大学講師の田村由香氏が京都議定書から日常生活を考えるという講演があった。地球の温暖化は着実に進んでいる、だから各人が自分の出来るところから無理せず継続できる防止対策を行うことが重要だと図表や資料を縦横に使って説明された。

04年度のマトメを話し合いました。(事務局)

京都府山城広域振興局からNPO活動促進フォーラムの企画運営を任されたこと。木津川植生環境維持作業の受託、セブニーレブンみどりの基金の活動助成などは、それぞれが大変な成果である。今年度の特筆すべき事業ではないか、また参加者数も昨年とほぼ同数であったことはすごい成果であると同時に、理事を中心にしたチームワークがあった。ホームページの毎週更新がされたこともなかなかのことだ。週間ニュース発行も素晴らしいと評価がありました。また財政規模が300万円を突破したこともうれしい成果だとの発言も見られました。

結成10周年記念事業が検討される

オオムササキの生育調査を子どもたちと一緒に協働にしてはどうか、ハイキング解説書の発行、秋の七草や町の花ベストテンをポスターにといった提案もありました。積み立てて来た基金を思い切って充当してと言った意見もありました。(運営委員会)

交通費負担をNPOで出せないか

これまでボランティア100%で取組みをすすめてきたが、この状態では長続きしないと思う、せめて交通費程度は支給できないだろうかとの意見がありました。会計係が試算して実施できるよう検討することになりました。(運営委員会)

20日の日曜日、府民水辺環境ネットの交流会が行われました。

そこでの発言を紹介します。

- 1 現在この街を何とかしたいとか、どうかしたいと思う人が少なくなって来ている。10年ほど前なら環境と言えば人が集まってきた。今日では集まらなくなってきた。
- 2 NPOなどでもお金が出てくると本気で取り組んでいるのかどうかが見えてくる。
- 3 川の上流に住む人は下流を見ない、川の下流の人は常に上流を気にしている。「何でも川に流してしまえ」という考え方がる。上流の人と下流の人が交流することが大事だ。

2005年度会費の納入をお願いします

郵便振替口座 00950-7-46840(¥2000-)

第4回理事会 3月24日 午後7時より 京田辺市立中央公民館

春の野草を食する会 参加者募集 4月3日(日)

場所 田辺木津川運動公園テニスコート横

集合 近鉄新田辺駅西口(午前10時) または現地

申込み ハガキまたはFAXで 当日も受付

持ち物 弁当 水筒 ハサミ 飲物

京田辺尾根筋ハイキングコースの案内看板 天王バス停に設置
桧作りの素晴らしい看板が天王バス停の正面に設置されました。
5月1日オープン予定の準備が着々と進んでいます。



同志社大学からのインターンシップでこられている穂谷の山村聡史君もマップ製作に引続き看板の製作に汗を流しています。藤ノ井さんの指導を受けて、なれない作業に挑んでいます。完成したら三山木駅前の仮設駐輪場に取り付ける予定です。

コースのマップ図が出来上がりました。ご希望の方にお譲りいたします。送料 150 円を下記口座に振り込んでください。5 部送りいたします。

郵便口座 00950 - 7 - 46840 住所氏名電話番号記入のこと

春の野草を食する会 参加者募集

4月3日(日)

場 所 田辺木津川運動公園テニスコート横 集 合 近鉄新田辺駅西口(午前10時)又は現地
(雨天の場合;さとやま事務所)

申込み ハガキ又は FAX で 当日も受付 610 - 0331 京田辺市田辺深田 15 0774 - 64 - 4183

持ち物 弁当 水筒 はさみ 飲み物 **500 円当日集めます。**

第4回通常総会 4月17日 午後1時より 京田辺市立中央公民館にて開催

社員の皆さん、ご出席をお願いします。総会終了後退任及び新理事の歓送迎会を予定しています。

花たより 京田辺市でいつものようにイワナシがきれいに咲いていました。またアマナも咲き誇っていました。ホトケノザも真紅の小花をつけています。春の野原も一度に賑やかになってきました。

会誌 18 号の編集が進んでいます。坂田さんや西田さん森さんそして山本理事長がパソコンでの打込みに参加してくださるようになって、作業の分散が進み集中から軽減されるようになりました。

尾根筋ハイキングの維持管理協力募金に早速応募があり現金を届けていただきました。こんなに早く反応があるなんてと期待の大きさに驚いています。

春の野草を食する会 23名の参加

採草したもののヨモギ カラスノエンドウ ヤブカンゾウ タンポポ ノイバラ アザミ ヨメナ ヒメジョオン ユキノシタ ドクダミ ミツバ ウシハコベ、セリ、ヒメムカシヨモギ ツクシ、オオバコで、天麩羅にしました。それぞれが持ち込んでくださった一品料理(ヤーコン、紫蘇入れアラレ、ミカン皮入りアラレ、筍)もいただきました。お茶ではニガウリ茶、黒豆茶も絶品でした。

酢の物としては、ノビル、ヤブカンゾウの酢味噌和えもおいしい作品でした。それぞれが珍しい食材で、参加者一同驚きの連続でした。もっと多くの方々にお越しいただけないものかという声がありました。

リクエストがあれば時々のご案内に出かけてゆきたい取組みでした。

ハイキング地主対象の内覧会

4月5日は京田辺尾根筋ハイキングの地主さんたちのご理解があってルートが完成したので、オープン前にご意見を承っておこうと計画いたしました。前日までは雨模様の天候でしたが、当日はカラット晴れ渡る気持ちよい日本晴れでした。集合時間の10時30分の高船バス停にはどなたもご出席いただけませんでした。案内文書にはご出席なき場合はご同意いただいたものとさせていただきますと申し添えておきましたので、そのように理解させていただくことになりました。

大型看板3台が完成

同志社大学生・山村聡史(三山木駅前)が短期間に必死の取組みでなれないルーターを使ってルートの溝を彫ってくれました。期日が迫って出来上がるのだろうかと気をもみましたが、指導してくれた理事の藤ノ井さんの助言があって、見事に出来上がりました。この作品は三山木駅前の駐輪場に掲示することになっています。通りがかった折にはぜひご覧ください。第3台目の掲示板は京田辺市で長年篆刻指導

をされてきた斉藤元二さんをお願いいたしました。斉藤さんは知る人ぞ知る写真家であり、近畿地方の殆どの山々を踏破され、熊野古道を提唱された方です。この斉藤さんに製作をお願いいたしました。この作品は水取の府道と農道の交差点・ハイキング道路入り口に建植(登山入口)の予定です。それぞれ皆さんの応援を得て取り付けたいと思っています。取り付け日は来週の後半に予定しています。

第4回理事会から

04年度活動では年間の参加者は昨年と同程度であった。しかし参加費の年度目標では48%となり、売上金は目標の59%どまりであったこと、04年度事業決算では34%増という大飛躍であったこと、2つの受託事業と1つの活動助成事業を受けたことが財政を後押ししてくれたこと。05年度活動方針案骨子と事業予算案骨子では、財政の確立の重要性を強調しつつ、必要実費補償の実行の必要性を強調、その他成果物や出版物の販売を20%増加させようとの呼びかけ、専従職員の財源の確保、労務提供の実費保証予算が組まれています。画期的な予算案となりました。

また、結成10周年記念事業計画案では、事務所の冷房施設設置や観察会での説明用拡声器の購入、全会員へのポスターやカレンダー制作費、ハイキング解説書作製費等が予算化されました。

新年度の運営については、毎週水曜日午前

9時30分からの事務局会議を中心にした運営、そして3ヶ月前には事業準備の打合せと、1ヶ月前には最終打合せを行うことを大筋運営の流れにすることが申し合わせてきました。事務局会議には多くの皆様のご参加を呼びかけることを予定しています。

社員の皆さんへ 第5回通常総会

4月17日 日曜日午後1時より開催
ご出席よろしくお願ひします。

ハイキングルートの**地主さん対象の内覧会を5日に開催**しました。6人のどなたもご出席いただけませんでした。そのうちのお一人は、弁護士に依頼してあるので、説明に来るようにとの呼び出しがありました。11日の午後大阪の西天満にお尋ねしました。私たちの意図するところを十分お話いたしました。1「先方のご都合で使用中止という事態」には誠意を持って対処すること、2「使用权や借用権」を主張する意図は全く持ち合わせていないこと、3「通行を許可しない」という返答なら、無理強いまでしない。などの考えを約1時間にわたって説明いたしました。

後日家族と話し合っ、返事するとのことでした。

内覧会ご欠席の皆様には、許可を得られたと受け止め、ルートの様子の写真をお送りしました

京田辺消防署から吉報

山火事防止の看板10枚を製作する、月末に間に合わせたい。里山の会と消防署との連名の看板にするとの返事をいただきました。

大型看板にはぜひとも屋根を取り付けることがふさわしいのではないかと意見があっ、藤ノ井さんが、**三角屋根の製作を始めています**。またヒノキの美しさを保つためには透明のペンキ塗装を施せば、耐久性が増すとのこと、早速ペンキ屋さんに声をかけておきました。

案内の**大看板の設置場所**の水取のコースの入り口の農家が看板を立てることに了解をいただきました。これで**予定の三箇所全部実現すること**になりました。

第5回通常総会が4月17日に行われます。

財政規模が2年連続で前年を上回り330万円を突破、会員も211名に増加しました。皆様のご協力が財政や組織を発展させました。

結成10周年記念事業では、予算が百万円計上され、事務所に冷房施設の設置、全会員にカレンダーやポスターを制作して贈呈、屋外での観察会に威力を発揮する解説者用の拡声器の購入、会誌編集のスキャナ購入が計画されています。

運営面は、事務局会議を毎週水曜日に定期開催し、社員会員の皆様のご参加を求めています。ふるってご協力いただきますようお願いいたします。

会誌18号製本作業の協力者募集

4月20日午後1時より本会事務所にて行われま。できるだけ多くの皆様のご出席をお願いしています。18号から久しぶりに連載が始まります。乞うご期待！

本庄豊さんによる寄稿で4回連続します。

会員募集

今年は早い時期に念願の250名会員を実現するために、活動計画の対象者を明確にして、働きかけを強化することにしています。木津川の花をたずねる会では、すばらしい天然の花のジュータンを宣伝して行こうと話合っています。また、身近で楽しめるコースであることを知ってもらうために花のマップを作ることも提案されています。皆様のご紹介をお願いします。

当面の作業日程

草刈作業 1鹿背山の柿畑 2打田の田んぼと竹藪の竹きり 3木津川の植生環境維持作業場所(21箇所)で木津町から八幡市までの広範囲に及びます。18日から月末まで毎日作業します。草刈以外では、ハイキング案内大看板の建立作業、ルートに花の解説版や樹木の名前板の取り付け作業があります。

集合時間や場所は、事務所にお問合せください。

柿の芽摘み作業5月3日参加者募集

実りの秋を代表する一つが柿です。たわわに実らせるためにはこの春から手をかけていかなばなりません。最も大事なのが芽を摘み取る作業、また葉っぱ5枚に一つの実がつくように摘果作業です。こうした作業にぜひ沢山のご参加をお願いします。一度でも柿山にこられた人なら、この作業の大切さはお分かりになると思います。一人でも多くの方々のご参加を呼びかけています。午前9時30分木津振興局前に集合してください。弁当と水筒をご持参ください。

7年前の昆虫観察会に参加した浅野君

今春京都大学に入学、おめでとう！桜谷先生との出会いで京都大学入学を決意して、頑張ってきました。

5日の野草を食する会で、皆さんが我がこのようにから祝福の拍手を送りました。

第5回通常総会 委任状含めて社員

全員の出席で全案件が提案どおり決定された。

活動報告では財政規模の拡大に三つの受託事業の成功があったと強調、質問でホームページの効果と、専門性を生かした講師派遣の宣伝を強化すべきでとの意見が出された。

活動方針では新しい仲間を迎える目標を250人と決めて、あらゆるチャンスを生かして結成10周年の節目を作ること。そのために参加費と成果物販売を20%増加の目標を決めました。**結成10周年記念事業**を新たな出発の基礎を築くとしてハイキングコースの大看板やマップ作り、木津川右岸の植物調査の実施、秋の七草や野の花のベストテンを使ったカレンダー・ポスターを製作し会員への贈呈、事務所の冷房化などを決めた。

新年度予算が2079千円規模の提案と、10周年記念特別会計を百万円規模で決定。特に、作業や会議出席者への実費保障も決定。

役員選出では、坂田一郎さんを新理事に決定。残念ながら、副理事長の西田保次さんと西田千恵子さんご夫妻、そして長年活躍していただいた浜谷久美子さんの退会が報告されました。近藤宏一さんと伊藤喜昭さんが理事を退任。お二人は社員として運営にご協力をいただけるとのことですが、大きな戦力ダウンとなりました。

こうした状況を踏まえて閉会にあたり山本理事長から「**新年度のスタートにあたり、心新たに老骨に鞭打って全力で先頭にたつ覚悟をいたしました。皆さんのなお一層のご協力をください**」との決意が表明され出席者一同奮い立ちました。

その後歓送迎会を2000円の個人負担で行いました。15名の出席がありました。

当面の活動

- 5月1日 ハイキングコース開通式
- 5月3日 柿芽摘み作業
- 5月7日 鷲峰山の自然を訪ねる
- 5月15日 田植え作業 22日に順延もあり
- 5月20日 木津川の花を訪ねる会

木津川植生環境維持作業を実施

25箇所の管理地のうち5箇所の草刈を行いました。残り作業は26日の予定

9時30分 神矢樋門に集合 11時解散

ホソオチョウ・ジャコウアゲハ第1号確認

木津川に生息する黒色のジャコウアゲハと白色のホソオチョウが4月19日それぞれどれ乱舞していました。少し小さめでした。

イヌナズナ確認 今年も健在

絶滅危惧種に指定されているイヌナズナが本当に小さな黄色の花を咲かせていました。カラスノエンドウが大きくなっている傍らにそっと咲いていました。すでに種などが出来ており茎の先端に残り花が見つかりました。最初は一本見つけました。振り返りますと見つけることができなかったのでしょうか、沢山発見することができました。

当面の作業日程

- 21日 9時30分 柿山草刈 11時30分解散
13時00分 打田田圃 14時30分解散
- 22日 ハイキングコース階段作り 高船バス停
9時30分より12時まで
13時より製本作業 中央公民館
- 25日 11時ハイキングコース記者発表市役所
- 26日 9時30分神矢樋門集合 木津川草刈り

木津川右岸植物調査(結成10周年記念事業)

5月より毎週金曜日実施

- 6日 泉大橋北詰 午前9時30分集合
 - 13日 山城大橋東詰 午前9時30分集合
 - 20日 流れ橋東詰 午前9時30分集合
- 弁当、水筒持参ください

ハイキングコースオープン

5月1日実施

**出発 10時00分 普賢寺小学校前
開通式 10時30分 登山口**

(記念シート配布 100人先着)

- 昼食 12時00分 笠上神社
- 14時00分 朱智神社 神主さんの解説
- 14時30分 如月窠見学 板碑の解説
- 解散 15時23分 天王バス停

高船区からの要望はコース利用者のマナー問題で、ごみの散乱と放棄、農産物の盗難を大変危惧している、とても歓迎できるものではない、との強力な意見が寄せられています。

木津川右岸の植物調査始まる

マキエハギやカワラナデシコ、カワラサイコなど昨年に引続き元気に芽ぶいていました。この日はあいにくの雨模様でしたが、6人の参加で調査しました。

ホームページ 年間事業計画発表

パソコンチームは、一日も早く年間事業計画を伝えようとこの日は午後から6時までかかってホームページを立ち上げました。中でも中心を担っていただいている白木さんが最後まで残って苦労していただきました。皆さんも一度ホームページを開いてください。そしてご感想をお寄せください。

鷲峰山の自然を訪ねる・前夜の雨で中止

4年ぶりに鷲峰山を尋ねる予定をしておりましたが、この日だけあいにくの雨が強く降り危険が予想されたので中止になりました。宇治田原在住の坂本伊三雄さんがガイドをしていただく予定でした、次回を楽しみにしています。

登山口にきれいな入山名簿記入箱完成

京田辺尾根筋ハイキングの登山口にみどりの箱が設置されました。これは藤ノ井さんがペンキを塗って美しく仕上げてくださいました。中には入山名簿やハイキングマップ、里山の会の活動予定表などが置かれています。またなかには棚が作られ、きれいに整頓されています。

一周間で5名の入山記入がありました。

浜谷さん、西田夫妻に相談役就任依頼

先日の通常総会で退会されました、前理事の皆さんに理事会の総意として相談役にご就任いただくことを決定いたしました。9日に山本理事長、山村常務理事がそれぞれをお尋ねして記念品をお送りし、就任のお願いをいたしました。

田んぼと堆肥置き場の草刈り進む

苗代があちこちに作られ、田植えの準備が始まりました。田んぼの草もきれいに刈り取られてきました。私たちの打田の

田んぼの畦の草も刈り取りができて世間並みに美しくなりました。

水取に設置のハイク看板の屋根完成

3枚目の看板が設置されましたが、屋根が取り付けられていませんでした。藤ノ井さんに腕をふるって三角屋根を作ってくださいました。これが取り付けられますと一層すばらしい出来栄えになります。金曜日にでも付ける予定です。

事務局会議 会誌の編集について検討

会誌の発行について検討しました。原稿の締め切り期日を守って作業を進めるために、早くから原稿を集約すること、そして18号まで発行してきたのだから、今後も苦労があるけれど発刊していこうと申し合わせました。

木津川植物環境維持に蔓除去が緊急に

去年は春先の手入れができなかったので蔓草がはびこり秋が大変でした。今年は春から蔓の除去を目に付いたところから始めます。お手伝いに来てください9時30分から11時30分迄終了、集合場所は事務所まで問い合わせてください

ウマノスズクサ元気に生育

黒い蝶ジャコウアゲハ、白い蝶ホソオチヨウの食草であるウマノスズクサが目立って生育しています。私たちはこれほど多く生育しているとは思ってもよらなかったのですが、本当に沢山生育しています。

NPO活動促進フォーラム成果報告書に反響続々

2月12日に行ったフォーラムのまとめの冊子が出来上がり京都南部のNPOに送りました。感謝の言葉が沢山寄せられています。

田植え作業体験 5月22日に決定

年間計画では15日でしたが、お世話になっている山本さんからの連絡で22日に実行することになりました。

早くも2家族から参加申込みが来ています。さそいあわせてお越しください。

木津川右岸植物調査新たな発見つぎつぎ

マキエハギやカワラナナデシコ、ミヤコグサの大群落が見つかりました。マグワも発見できました。井手町の木津川堤に多数の野良犬が出没、土手の散歩が気軽にできません。何とか安全に歩けるようにしてほしいものですね。

刈り払い機修理できあがる

使いすぎかもしれませんが、エンジンがかからなくなっていました。知り合いの方に調整をお願いして、修理ができました。昨年と同じように1000円の使用料で、新品のチップソウを取り付けてお貸しいたします。希望者は申し出てください。

木津川花情報

一週間前にはウマノスズクサが目立っていたがチガヤやヨシ、カラスノエンドウなどの生育が激しく全く埋没してしまいました。センダンの花が美しく咲いています。少し茶色がかった濃い黄色のコウゾリナも見られます。マツバウンランも風にそよんでいます。

京田辺尾根筋ハイキングコースの

マップ贈呈しています

週間ニュース36号でもお知らせしましたが、下記の郵便口座に送料150円を振り込んでいただきますと、5部進呈いたします。

00950 - 7 - 46840

また、京田辺市中央図書館、北部と中部の住民センター、京田辺市観光協会のカウンターにも置いてあります。

木津川の花をたずねる会 5月20日

近鉄新田辺駅西口午前9時30分です。昼食を京奈和道路付近に予定しています。午後2時30分四季彩館(八幡市)で解散予定です。ハナウドやコーゾリナなどが咲いているのではないのでしょうか。途中で絶滅危惧種や環境維持区域の説明があります。

田植え作業 5月22日 申込み17名

事務局に申込みが沢山ありました。事務局でもてなしを考えました。蓬もちや、水鉄砲づくり、天気が良かったら川で水遊びなどに取り組みもう、昨年に引き続き淡竹の竹の子狩りもしてみようと相談しました。昨年は淡竹の竹の子が沢山採れてお土産として喜んでいただきました。

ホタルの夕べと里山音楽会 6月4日

アコーディオンの野村さんが出演を快諾。演奏曲目と一緒に歌える曲を選んでいきます。希望があればお寄せください。とぼりが降りて幽玄世界が訪れてきます。するとホタルが飛び出てきます。

木津川清掃ウォーク 6月12日

河川敷に運動公園を持っている八幡市、久御山町、城陽市、京田辺市、木津町、山城町の管理担当課に参加の呼掛け文の配布とこの取組のネライを伝えました。9時30分に神矢樋門付近に集まってください。上流玉水橋へと下流手原川への2つの組に分かれて取り組みます。ご参加をお願いします。

親子自然教室 6月18日

「親子でわくわく自然体験」ポスターできる
植物・光田重幸(同志社大学助教授)
鳥類・中川宗孝(環境庁鳥類標識調査員)
昆虫・京都大学生が指導をしていただきます。
植物、昆虫、鳥などすべてを手にとって体感できます。特に鳥の鼓動が伝わってくるかもしれませんね。里山の会からは理事の多くが出席して一緒にお手伝いをします。事前申込み制です。6月11日必着で申し込んでください。FAX・0774-64-4183まで

オオムラサキの調査 6月26日

普賢寺小学校前午前9時30分集合
冬の観察会では幼虫が1匹しか見つかりませんでした。いよいよ成虫がどうなっているのか気にかかります。これまで樹液を出していられた大クヌギが昨年倒壊してしまいました。

田植作業

少し雨模様でしたが、大勢の方々のご集いいただきました。小学生10名、大人6名、スタッフ12名で合計28名というこれまでにない沢山のご参加がありました。山本理事長の挨拶の後、早速田んぼに入って早苗を植えました。初めて泥の感触は冷たく少し緊張し、泥から足を抜いて歩くのが初めてでした。参加者全員で作業をしました。

植え付けが終わって、今度は用意してもらった竹を使っての水鉄砲を作りました。ポロ布を巻きつけて、水を吸い込んで植えた田んぼに向かって力を入れますとよく飛びました。皆な大喜びで時間のたつのを忘れて一生懸命になりました。

今年は竹の子の不作の年だといわれていましたが、淡竹(ハチク)も出来が悪く、散々探して、掘り起こしていただいたものをお土産に持ち帰りました。昼ごはん休憩時間に、里山の会からの「蓬もち」をほおばりました。美味しかったというのが参加者の感想でした。

木津川の花をたずねる会

新田辺から八幡の四季彩館まで約4時間で歩きました。スズサイコ、ナヨクサフジなどを確認し、四季彩館で三々五々帰宅しました。

親子わくわく自然体験の案内チラシを京田辺市内の全小学校と幼稚園にチラシを配付依頼を行いました。お話のできた校長さんや園長さんは里山の会の活動については全員がよく知っておられました。それぞれの立場から子どもたちにチラシが行き届くように協力するとのお約束をいただきました。京田辺市広報に記事の記載をお願いしました。ポスターも出来上がり、A3の掲示板も用意できています。ご協力いただける方は事務所にお越しください。

山本理事長、明日(26日)講演

自治体問題研究所から、里山の会の活動紹介の依頼があり、5月26日午後6時から京田辺駅前の商工会館(きららホール)で講演をいたします。多くの皆様のご出席をお待ちしています。参加

費無料です。

尾根筋ハイクの解説書づくり

第一回打ち合わせが行われました。11月の京田辺市文化祭を目処に作業を進めること。冊子またはCDに入れて希望者には有償でお届けしてはとの意見がありました。光田先生は植物関係、地質関係を天白さん、人文系を太田さん、そして昆虫は、桜谷先生と鳥関係は中川さんをお願いすることになりました。次回(8月中下旬)までに、それぞれが原稿を書き上げてくることになりました。

木津川清掃ウォーク

山城地域の体育協会に呼掛け文送る

城陽市・八幡市、京田辺市、久御山町、山城町、木津町、の体育協会会長宛に呼掛けの文章を送りました。

6月12日 午前10時 雨天実行・近鉄鉄橋下集合で行います。皆様のご参加をお待ちしています。

木津川右岸植物調査 参加者募集

5月27日金曜日 玉水橋東詰め9時30分集合(少雨決行)で行います。皆様ご参加ください。弁当・水筒持参

ホタルの夕べと里山音楽会 ご案内

年中活動で最も人気のある取組です。中でも里山音楽会は最高のもてなだったと評判をいただきました。今年は公務員の傍ら音楽活動に活躍され、NHKのど自慢でも幾度も伴奏者として出演され、退職後も小学校や幼稚園、保育所、福祉施設などから出演依頼が相次ぎ、活躍中の「野村力さん」をお願いしました。

新緑豊かな、生命あふれる里山で一緒に観察し、音楽を鑑賞し、合唱してみませんか。懐かしい歌、聞き覚えのある曲などをおねがいしてきました。クラシックも用意して下ります。 6月4日 土曜日

14時・植物昆虫観察、18時・里山音楽会、19時・夕食、19時30分・行灯着火、20時ころホタル出現、20時20分ごろ解散

親子わくわく自然体験下見・コース決定

5月29日実施、中部住民センターから木津川堤に上がって川側に素晴らしいポイントを見つけました。そして北上するとジャコウアケルやホリチョウの幼虫がたくさん見つかりました。養蜂業の方からの説明もいただけるとのこと、木津川を代表する絶滅危惧種のカワラサイコも健在でした。又、オオマツヨイグサも咲き始めています。絶好のコースです。

参加申込み33名に チラシの効果があって、予想を超える方々から申し込みが来ています。

神矢樋門に焼却鉄屑大量放棄発見

鳥類を観察する予定地付近に不法投棄を焼却した残存物があふれていました。出来れば12日の木津川清掃ウォークのときに清掃しようかと計画しています。

結成10周年記念のカレンダー作りでは、見本を作製しました。里山の会の発行だから、自然や環境、植物や昆虫など保護者の活動の成果を写真に、あるいはそれらに関わる格言、定番活動の案内など、いろいろな企画が出されました。皆様のご意見もどんどんお寄せください。お待ちしております。

木津川右岸植生調査では27日玉水大橋から山城大橋まで進みました。丁度この地点は奈良京都を結ぶ国道24号線で歩道のない道路ですから非常に危険でした、山本理事長をはじめ、黒光、中西、北波、坂田、山村が行いました。

清掃ウォーク参加呼びかけの看板全線で30箇所設置左岸の山城町から八幡市までの主要なところに細い竹杭で作った看板を立てました。仲間を誘って案内してくださいね。

左岸の植生環境維持地域に、タヌキマメやスズサイコ、フナバラソウを確認しました。何れも小さく弱い弱いものですが、私達の苦勞もあって、今年も少し大きくなっていました。特にそれぞれ夕方に

花を開くものですから午後6時ごろ見事に開いたスズサイコに出会ったときは感激しました。

季節の野菜を食する**キャベツの甘酢漬**レシピ

材料 新キャベツ60g きゅうり1/3~1/4本 パプリカ酢10cc 砂糖6g 塩4g(全部を混ぜ合わせておく)
作り方 キャベツをサツゆで短冊に切る
きゅうりも短冊に切り、パプリカは細く切り、塩をふりかけ、水を切ったあと材料を全部混ぜ合わせ甘酢に漬け込む 即たべられます

ホタルの夕べと里山音楽会にご参加を

6月4日 14時から昆虫と植物観察
18時 里山音楽会 野村力さんアコーディオン演奏
19時 持参の夕食弁当の時間
19時30分 竹行灯に点灯
20時ごろ ホタルの出現となるでしょう

**木津川清掃ウォークに
沢山のご参加を 6月12日(日)
10時 近鉄鉄橋付近集合**

**親子わくわく自然体験
6月18日 土曜日
申込み締切日 10日 必着**

当面の日程

6月2日 **パソコン教室**
6月3日 **木津川右岸植生調査**
6月4日 **ホタルの夕べと里山音楽会**
6月6日 **木津川植生環境維持地域明示作業**
6月8日 **事務局会議**
6月9日 **パソコン教室**
6月10日 **木津川右岸植生調査**
6月11日 **京都府地球温暖化防止意見発表会**
6月12日 **木津川清掃ウォーク**
6月13日 **オオムラサキ調査用バナナ取り付け**
6月15日 **事務局会議**

ホタルの夕べと里山音楽会 52名の参加で大成功

低温でもホタルの飛翔が見られて大喜び

枚方のケーブルTVが取材

6月4日午後2時に集まって、自己紹介をしました。26日のオオムラサキ調査にも来てくれる浅野君が友だち二人を誘って来てくれました。小学生の皆さんは昆虫の採取が待ち遠しくて、大変期待していました。少し時間が早くて森の宝石ミドリシジミを見つけることはできませんでした。しかし、ザリガニの大群を発見して、飛び上がりました。大人たちもこれほどのものは見たことがないと興奮気味でした。

チガヤの穂が夕風になびきそよぐ姿は見事でした。少し視線を下げて手前から徐々に目を移していくと立体的に自然を体験できます。音楽会では、野村力さんがアコーディオンの演奏していただきました。ふるさとを皆で合唱しました。ドレミの歌やドラエモン、東京行進曲、そしてタンゴやルンバを聞かせていただきました。夕闇の中に浮かび上がった竹行灯が癒してくれました。

木津川右岸植物生育調査

今週は6月10日 午前9時30分
集合は富野荘駅、近鉄鉄橋から流れ橋まで調査します。ぜひお越しください。

尾根筋ハイキングコースの草刈り

高船区域でおこなう

作業中に、農家の奥さんからあぜ道に入ってくるハイキングの人が困る、注意してほしいと強い要望がありました。
注意の看板を製作します。お手伝いください

親子わくわく自然体験

参加申込み8日現在62名がありました。参加締め切りは10日必着です。こぞってご参加ください。

昆虫観察 オオムラサキの調査

これまで国蝶オオムラサキの生育調査を行ってきました。これまでの数年間何れも成虫を確認できました。生育が継続されています。昨年末の幼虫確認でも1匹見つけました。今年の成虫確認が楽しみです。こぞってお越しください。6月26日 日曜日 午前9時30分 普賢寺小学校前集合

世界遺産を訪ねる会から連絡

2005年の取組みは、四国の石鎚山と剣山の登山と牧野富太郎植物園、坂本竜馬記念館を訪ねます。7月11日から13日で道後温泉と高知市の海辺の旅館を予約しています。費用は4万円、参加希望者は事務所に問い合わせてください。昨年は白神山と岩木山に登り、不老不死温泉に行きました。

会費未納の方(2000円)

ご納入をお願いします

6月12日(日)午前10時より12時まで

木津川清掃ウォーク ご参加ください

集合 木津川近鉄鉄橋下付近 新田辺駅下車北15分

7月23日 土曜日

箕面ビクターセンターを訪ねます。

夏休み子ども自然観察会

里山の会会員の募集中

皆様のご友人に自然・環境・農業・街づくり・青少年育成などに関心のある方をお誘いください。事業案内と会誌を年2回送ります。

木津川清掃ウォーク 天津神川から山城大橋まで清掃を行った。神矢樋門では不法投棄された家財道具が焼却され残された鉄くずが山のように放置されていました。ベッドのスプリングと大杵、座椅子の燃えカス、ガラス瓶、自動車のバッテリー、軽トラックで10回運び出しました。初めて参加した人は、こんなに放棄した人に腹が立った、作業をやめようと思ったけれど参加されている人たちが一生懸命に拾い集められた。それにつけても大変な不法投棄がこれほどの元とは予想もしていなかったとの感想でした。案内看板をみて参加した東住宅の青年も含めて17名の出席でした。

堆肥の置き場の整理整頓をしました。昨年の製品が少し残っていたので袋詰め作業と併せて、草刈り作業と整理作業を行いました。約300袋分があります。ご利用の方はぜひ本会に問い合わせてください。10袋以上の注文者には配達いたします。20L袋で150円のご協力をいただいております。

昨年から採取してきた**木津川の植物標本**は、芽が出たとき、花が咲いたとき、そして枯れたときまでの植物の一生を標本にしようと取り組んできました。13日押し花を台紙に貼り付けました。花明山植物園の津軽先生に電話でいねいにご指導を受けて、何とか形になりました。わくわく自然体験の当日に間に合わそうとピッチをあげています。ご期待ください。

柿山に尿素の散布しました。鹿背山の柿といえはなんといっても青木の柿が有名です。その青木さんのご指導で柿を作っています。一ヶ月もすると柿畑一面に1mにも成長する雑草を刈り取り、歩行ができるようにする作業も前準備として大変です。柿を作る以前に雑草との格闘が最初の仕事です。青木さんは柿のみを作るためには柿の葉を作ることがまず第一、それが甘くて美味しい柿を作る秘訣だとおっしゃっています。尿素を散布するとまた雑草が勢いを増して生い茂ってきます。雑草の刈取り、柿の実が成るまで毎月1回の草刈りを確実に実行します。ご参加いただけるお方おいでなりません。お待ちしております。ご連絡ください。

親子わくわく自然体験

参加申込みが88名になりました。スタッフを入れると100名を超えることとなります。心配している天候は、どうにか雨が降らないという見込みのようです。ぜひ多くの皆さん、こそっでお越しください。6月18日土曜日10時京田辺市中部住民センター集合です。

指導は光田重幸同志社大学助教授や中川宗孝環境庁鳥類調査員さんや京都大学や近畿大学の学生さんをお願いしています。スタッフを充実しようと準備しております。ぜひお越しください。

なお19日の日曜日には同志社大学田辺キャンパスの恵道館にて研究会が行われます。ここではやましろ里山の会活動発表や、光田先生の講演もありますので、研究会にもご参加くださるようお願いいたします。

里山クッキング **絹さやと油揚げの胡麻あえ** (4人前)

用意するもの 絹さや・200g、油揚げ・2枚、すりごま・大さじ5、すり胡麻・おおさじ5、味噌・大さじ3、砂糖・大さじ4、酒・大さじ2、

作り方 絹さやは熱湯で色よく湯気あげ冷ましておく。油抜きしたあげを縦2つに切り1.5幅に切る。すり胡麻に、味噌・砂糖・酒を加え、絹さや・油揚げを入れ和える

返事をいただきました。 会誌をお送りいただきありがとうございます。孫を連れて活動に参加できる日を楽しみしております 奈良市 中殿純子 さん

親子わくわく自然教室 18日 130人の参加で大成功 ホソオチョウやジャコウアゲハ、モンキチョウなど、ウマノスズクサの花やオオマツヨイグサの群生、本当に木津川の自然を満喫することができました。木津町や奈良市、京都市、八幡市、宇治市など遠方からも沢山の参加がありました。午後の鳥類観察ではカワセミを直接接触することが出来、くちばしの力の強いことも体験できました。亀やすっぽん、タウナギ、なまず、めだかなどの魚類も紹介していただくなど一日中目いっぱいの充実した取り組みになりました。参加された人々からは喜びの声が届いています。

19日の**子どもの自然学会**では、茨城、岡山、千葉、静岡県などからの出席があり、私たち里山の会から山村常務理事が里山の会の活動紹介を報告しました。ベトナムや中国・ドイツから日本にいられている学生さんから自国の子どもたちの実態報告がありました。

夏の昆虫観察会 **オオムラサキの成虫調査** 6月26日に開催 参加者募集中
これまで1998年から連続して調査を行ってきました。幼虫は毎年確認してきました。成虫は98年、00年、01年、02年が確認できましたが、03年04年と発見できませんでした。今年は確認したいものです。
これまで一番多く樹液を出してくれたクヌギが昨年倒木してしまいました。条件が悪くなったように思います。その分バナナをしっかりと取り付けましたが、近頃のバナナはおいしいニオイを発するまでに相当時間がかかって、腐りにくくなっているようです。バナナの加工方法があればご教授いただきたいものです。

里山の会**事務所に待望のクーラーが設置**されました。
真夏の暑い最中でも扇風機で過ごしてきましたが、女性も沢山おいでになり、パソコンチームも熱心に頑張ってくださいますので、結成10周年記念事業としてクーラーの設置を計画しました。事務所も少し過ごしやすくなったと思います。気軽においでください。皆様のおいでをお待ちしております。

会計さんから 年度終了後 NPO 法人として事業報告書、収支決算書、損益計算書、貸借対照表、社員名簿や役員名簿の提出を6月22日付けで京都府山城振興局あてに届けいただきました。目に見えないところで苦勞をさせていただいている会計さんに心からご苦勞様とお礼を申し上げます。

6月22日の事務局会議から集中して**文化祭への出展内容の検討**
結成10周年にふさわしい内容展示にすることは一致しました。会議では基本的な資料として「10年の年表」の作成が決まりました。そして、節目として祝賀集会の開催を行ってはどうかとの提案がされました。経費については個人負担で行い、時期は10月又は1月ごろが適当ではないかとの意見がありました。もちろん全会員に案内を行うべきは当然であることは全員が一致しました。

里山クッキング **簡単ラッキョウの漬け方** (涼しい所に置く)3ヶ月~6ヶ月で食べられる
用意するもの ラッキョウ 2kg 漬け汁(砂糖 600g 酢 720cc 塩 40g 湯 100cc) タカノツメ
1 ラッキョウはさっと水洗いしてザルにあけ、水を切る。2 分量の調味料を合わせ火にかけ砂糖、塩を溶かして冷ましておく。3 広口ビンにラッキョウとタカノツメを入れ冷ました漬け汁を注ぐ。

夏の昆虫観察会 **オオムラサキの成虫調査** 前日ルリタテ成虫確認

3年ぶりに成虫(メス)2匹を確認



ここ2年間成虫を確認できなかったのも、大変心配をしていました。午前10時20分ごろバナナを仕掛けた6箇所の一つに飛来しているのを発見、息を殺して全員が集結、食い入るように目を凝らしました。初めて出会う人は羽を閉じた姿ではとてもオオムラサキと見抜けないだろうと言っていました。白い少し大きい蛾のように見えるからです。ところが吸蜜中に羽を広げると見事な斑点が見えたので、思わず「お！お！」と感嘆の声が上がりました。みんなのイメージでは名前のおおむらさきを想像していたのですが、あいにくこの日はメスでした。10分間ほど姿を見せてくれましたが、飛び立ちました。するとまもなく別のところに少し大きめの蝶が飛来してきました。こっちのほうはサービス満点で忙しく羽を広げてくれます。オオムラサキとのツウショット撮影が可能になりました。本日の発見で普賢寺地域には確実にオオムラサキの定着しているのを見て取ることが出来ます。昨年まで樹液を出し続けてくれた巨大なクヌギが倒壊してしまって、どうなることかと心配しておりましたが、無事に確認できてほっとしています。まずはやれやれ、よかったですね。

柿山の草刈日程 きまる 7月22日,8月19日,9月16日,10月21日,刈払機1台で5時間の作業

木津川植生管理地草刈作業 7月4日 午前9時30分 事務所出発,1箇所約1時間の作業(4箇所分)

親子わくわく自然観察のマトメの会を開きます。 どなたでもご参加ください

7月3日(日)正午より3時まで 里山の会事務所

昼食弁当を食べながらすすめます。 参加費(弁当代1000円)要申し込み (持込可)

夏休み子ども自然観察会 参加者募集

7月23日(土) 午前7時 京田辺市中央公民館前・出発 **箕面ビジターセンター**へ

参加費 大人3500円 小人3000円 募集人数 40人(先着順)

申込み方法 往復ハガキ又はFAXで 住所 氏名 年齢 電話 性別を記入のこと

指導者 桜谷保之近畿大学教授 浅野悟史(京都大学農学部学生)

やましる里山の会ニュース発刊1周年(7月31日)をまもなく迎えます。ご感想や印象に残った記事などをご紹介ください。諸企画を提案いたしましたが、なかなか継続することが出来ず期待に添えなかったのではないかと思います。これからは皆さんの参加型に改善しようとしております。皆さんのご登場をお待ちしています。

里山クッキング **キュウリの甘酢漬**

材料 キュウリ2本、濃い口醤油・大さじ4、酢大さじ4、砂糖大さじ1、しょうが少々

作り方 キュウリを拍子切りし、醤油、酢、砂糖、を合わせたところに入れ、細かく短冊に切ったしょうがを入れて漬け、30分置いたら食べられる

木津川右岸植物調査 第1次分整理

5月6日から6月10にまでの毎週金曜日に実施して来ました。主な調査参加者は中西はる江、北波ヒロコ、坂田一郎、山本雅晃、黒光輝政、近藤宏一、森幾子、山村武正さんでした。**確認した植物は123種に及びました。**特にマキエハギの第3番目の群落の発見は圧巻でした。また一般的に見られたのは、カワラマツバ、クズ、スイバ、セイタカアワダチソウ、チガヤ、ネズミムギ、ヒメジョオン、ヨモギ、ヨシなどでした。調査範囲は泉大橋から流れ橋までで、**測定場所は75箇所**でした。流れ橋から下流部分は堤防の草刈が行われたので、調査が不可能になりました。秋が近くなりますと第2次の調査を再開いたしますので、皆様のご参加をお待ちしています。

夏休み子ども自然観察会 **参加者募集**

行き先を変更しました

7月23日(土) 午前7時 京田辺市中央公民館前・出発

滋賀県守山市 琵琶湖博物館 特別展「歩く宝石オサムシ」を見学します

参加費 大人3500円 小学生以下 3000円 入館料(780円)含む

申込み方法 FAX又はハガキで 住所 氏名 年齢 電話 性別を記入のうえ里山の会へ

募集人数 先着40人まで 小学生3年生以下は父母同伴のこと

木津川の草刈作業4日 雨中の中実施

森島さんと山村さんは激しく振る雨の中4日午前9時30分から八幡市から玉水大橋までのイヌハギの生育場所の草刈を実行しました。ここしばらくは雨天続きとの天気予報をみると今週は雨模様だから予定通り4日に実行するとして刈取り作業を行ってくれました。午後から尾根筋ハイキングコースのうち天王の朱智神社裏山、関電鉄塔下などの草刈整備も行っていました。

尾根筋ハイキングコースの「ゴミ持ち帰り」看板や「田や畑に入らないでください」看板の文字の色付け作業をしています。毎日午前中に行っています。お手伝いをしてくださる方を募っています。時間のある方里山の会事務所にお越しください。お待ちしております。

第9回「里山講演会」 講師 村上興正先生 に決定

9月3日に開催される講演会の講師に村上興正先生が決定しました。先生は同志社大学嘱託講師や京都精華大学非常勤講師を務める傍ら、国土交通省・淀川水系委員など20近くの各種委員を引き受けられ東奔西走の活躍をされておられます。ご多忙の中淀川流域の開発利用の歴史と現状の報告とそこから見える川のあるべき姿を提起され、実行されています。お願いに伺って、先生の自信ある提言の後ろに見えるのは、強力な実行実践だということ学びました。

多くの皆さんにご案内をお願いいたします。

里山クッキング 夏こそ三度豆のピリ辛煮

材料 三度豆200g、油大さじ1~2、酒1/3C、醤油大3、赤唐辛子3本、しょうが汁10g。
作り方 三度豆は筋を取り長いままさっとゆでる。赤唐辛子は水に漬けておく、赤唐辛子の種を抜いて小口から薄く切る。土しょうがは、すって汁を絞っておく。三度豆の水分を良く切り、熱した油で良く炒める。、 に赤唐辛子、しょうが汁、酒、醤油、を加え、煮汁がほとんどなくなるまで炒りつける(仕上げは茶色になる)。三度豆を強火の油で炒め、赤唐辛子としょうが汁を効かせた炒め煮。

鹿背山柿畑の手入れ早朝から実施

消毒と剪定した落とし枝などの始末に7月7日早朝から行われました。参加は2名でしたが暑くなる9時30分には終了しました。今年の結実状況は昨年より確実に大きくなっています。5月の摘花作業がかなり綿密に実行されたようです。また昨年は炭素病の発生もあって、落葉が激しく最悪の作柄でしたので昨年以下には落ち込まないと思われます。今後丁寧に発育を管理してこまめに草刈消毒などを実行していく事が必要だと思われます。皆様のご協力をお願い致します。

夏休み子ども自然観察会 参加者募集

行き先を変更しました

7月23日(土) 午前7時 京田辺市中央公民館前・出発

滋賀県守山市 琵琶湖博物館 特別展「歩く宝石オサムシ」を見学します

参加費 大人3500円 小学生以下 3000円 入館料(780円)含む

申込み方法 FAX又はハガキで 住所 氏名 年齢 電話 性別を記入のうえ里山の会へ

募集人数 先着40人まで 小学生3年生以下は父母同伴のこと

ハイキングコース案内看板の文字の色付け完成 ご協力ありがとうございました

暑い中事務所までお出かけいただき完成させていただきました。これで地域の地主さんも喜んでいただけたと思います。ありがとうございました。

里山クッキング アイスクリームの作り方

蒸し暑い時期が続きます。趣をかえてお伝えします

材料 卵黄2個 薄力粉小さじ3 塩小さじ半分 砂糖100g 牛乳400cc 生クリーム200cc
バニラエッセンス4~5滴

作り方 卵黄、薄力粉、砂糖、牛乳、生クリームを混ぜ合わせ、バニラエッセンスを入れて
タッパーにいれて冷蔵庫で冷やす。

世界遺産を訪ねる会では、**四国・剣山・石鎚山、青竜寺、竜馬記念館、竹林寺、五台山公園、牧野富太郎植物園を2泊3日で訪ねました。**梅雨の真最中でしたが、殆ど合羽は使用しなくて済みました。雲が下から湧き上がってくるという状況で残念ながら遠望はできませんでした。午後になってくると剣山も石鎚山も雲間から青空が顔を出してくれ、下山には最適の天候でした。

参加者の14名のうちには常連の伊藤夫婦の顔が見られず残念でした。どなたも60歳以上の高齢者集団で、無理をせず時間を気にせず登山いたしました。二つの山は日本100名山で石鎚山は四国最高であると同時に西日本の最高峰とのこと全員頂上を極めることが出来ました。

石鎚神社の宮司さんに宿舎までお越しいただいてコース上の注意点や神社の伝承など解説を聞かせてもらいました。特に頂上に到達する直下の第1の鎖場は60m、第2の鎖場は30m、第3の鎖場は68mで70度の傾斜をしているとのことでした。迂回路もあると聞かされ全員ほっとしました。以後皆さんの感想を順次掲載する予定です。乞うご期待

第9回「里山講演会」9月3日(土)

午後1時より 京田辺市中央公民館

堆肥の袋詰め作業の予定 ご協力をお願いします。

7月19日 火曜日 午前9時より11時まで 集合場所 現地又は事務所

堆肥場の整頓と袋詰め作業実施

19日の午前9時に集合した山本理事長以下中西、北波、森、森島、太田、山内、山村さんが、汗だくだくになって100袋に詰め込みました。これは注文が押し寄せてきたためです。作り上げたうち60袋はその日のうちに配達されました。残り製品は40袋となりました。

今年の堆肥は、完熟した見事なものです。これまでになく素晴らしい製品になっています。ハウス農家の評価は『抜群だ、どこにも負けない堆肥になっている』とのことでした。堆肥も残り少なくなってきました。せいぜい150袋分です。必要とされる方は至急ご注文ください。10袋以上ですと配達いたします。

夏休み子ども自然観察会について 連絡

応募者が14名でした。先日木津川グラウンドで発生した熱中症での死亡事故もありましたので観光バスをやめて鉄道を使用することにしました。

これまで**木津川植生環境維持作業**で、くずが激しくはびこり、弱小植物の生育が抑えられるので調整作業を行ってきました。今年もタヌキマメの生育場所ではすでに2回実施しましたが梅雨がすぎますと一挙に繁茂しますので早い目に手入れをしていただきました。暑い最中中西夫婦と北波さんが頑張ってくださいました。ところで、近年になくオオマツヨイグサが素晴らしい群生を作って咲き誇ってくれました。場所と範囲は局所的でしたが素晴らしい景観を作り上げていました。まだ少々見られるかもしれません。木津川グラウンド付近です。

里山クッキング うなぎとしし唐のにんにく炒め [4人分]

暑さ本番を迎えました、うなぎの一風変わったところを紹介します。

材料 うなぎの蒲焼(市販、タレツキ)1尾半、シシトウ30本、ニンニク薄切り三片。

調味料 サラダ油、トマトケチャップ、酢、各大さじ1

作り方 1 うなぎは2cm幅に切る。 2 フライパンに油を熱し、強火でニンニクを炒める。 3 香りが出てきたらうなぎとシシトウを加えて炒める。 4 うなぎのたれ大さじ1、ケチャップ、酢を加えて炒め合わせ、器に盛る

結成10周年記念事業の進捗状況について

- 1 京田辺尾根筋ハイキングコースの解説書の作成 8月下旬に第2回準備会 11月完成予定
- 2 記念講演会 検討中
- 3 事務所冷房装置の設置 完成 気持ちよく会議などに利用
- 4 ポスターカレンダー製作 形式が決定 月ごと花の選定作業中 11月には完成予定
- 5 七草摘み乙女の衣装政策 検討中
- 6 木津川右岸植物調査 第1次調査完了 まとめの作業中 第2次調査は秋に予定
- 7 会誌里山の自然の再編集 5号まで進行 11月には完成予定
- 8 軽トラックの購入 必要性は認知するがランニングコストから検討中
- 9 拡声器の購入 性能などの検討中

特別追加 結成10周年記念祝賀会 11月26日 土曜日 ウエルサンピア

第9回「里山講演会」9月3日(土)

午後1時より 京田辺市中央公民館

夏休み子ども自然教室

琵琶湖博物館・オサムシ展の見学

7月23日18名の参加があり、楽しい一日を過ごしました。参加されたお母さんから親切丁寧にご案内をしていただき有難うとの伝言が届きました。またこれまでの夏休み自然教室はすべて屋外での取り組みで暑い中大変でしたが、このように冷房の効いた施設での展示会の取り組みはうれしく参加しやすいのではないかと感想もいただきました。役員として参加された方はこうした施設での研究発表を見学することは展示方法や表現や説明文などに大変工夫が凝らされていることが大変参考になった。今後こうした展示発表会に積極的に出席するべきだ。またある方はチームワークがよく取れてそれぞれの持ち場で、気配りがされ気持ちよく歓迎していただいて大変良かったという感想をいただきました。何よりも宝石のようなオサムシを見て、その美しさに驚きましたというのがすべての方の感想でした。太田

京田辺市域の木津川堤防でオニユリの大群生が発生していました。今年には堤防の草刈作業が例年よりも遅いようで、そのために堤防のいたるところでオニユリがすばらしい姿を見せていました。久しぶりの大群生の出現でした。残念ながら27日には一部を残して刈り取られてしまいました。これほどオニユリやヤブカンゾウ、カワラナデシコが見事に咲いたのは、初めて目にしました。少し刈り取り時期を遅らせれば自然のすばらしさを堪能できるということもわかりました。

刈り取り時期を遅らせ、少し手入れをしてやれば自然の花壇が出来るのではないのでしょうか。

尾根筋ハイキングコース 7月17日現在 33名が記帳。

5月にオープンして以来梅雨の時期を迎えましたが、この間に33名の記帳がありました。今後もっと宣伝を強めれば多くのハイカーを迎えることができるのではないのでしょうか。登山口の草刈と最初の急な登り坂の整備も少し進みました。関電鉄塔下の草も刈りコースがきちんと整備されました。コースを歩かれた方、改善や整備点を一言お寄せください。

里山クッキング

ジャガイモのベーコンいため

材料 ジャガイモ2ケ、スライスし5mm幅の短冊切りして、水にさらし、水気を取る

ベーコン2枚、5mm幅に切る。ニンニク1/2片たたきつぶす。赤唐辛子1本小口切り

作り方 フライパンにオリーブオイル大さじ1杯を入れ、そこにニンニクを入れ、火にかけ香りが出たら唐辛子、ベーコンを加える。そこにジャガイモを加え、手早くいためる。塩コショウ少々で調味する ビールの当てにもなる 一度お試しください。

京都府水辺環境ネット事業企画提案募集に応募しました。

プレゼンテーションが29日京都府庁で開かれます。出席は山本理事長、山村常務理事、黒光理事と福井なみえ会員の4名です。

提案の内容は1、木津川本流で魚とりと水質検査など2、木津川の支流普賢寺川の最上流部の竹藪で竹の切り出し作業と竹炭づくりを通じて中山間部の荒廃を学ぶ、竹炭利用で水質保全対策3、木津浄水場の見学と上流下流の団体の活動発表を通じて水環境を学ぶ内容です。

ツバメの観察会 8月6日(土)

集合 17時 近鉄向島駅改札口

8月最初の事務局会議から

本会は今年結成10周年を迎えています。その間の代表的な取組は、木津川の植物調査でした。結果を「木津川花ごよみ」にまとめ、現在右岸の植物調査を実施中です。調査では絶滅危惧とされる植物を多数発見し、その保全作業を継続してきました。この取組を何らかの形あるものにするのが議題になりました。長時間の論議の結果それぞれ現存する場所で府市民の多くの皆さんにお知らせし、貴重な植物の生育する環境と条件を残し続けるために、花のジュータン公園とすることが必要であると一致しました。今後広くご意見や提案をいただき、具体的な取組計画を作ろうということになりました。こうした意思を京都府の平成17年度「緑と文化の基金」自然関連補助事業の追加募集のうち「京都府生物多様性保全推進事業」に応募することを決めました。

会誌「里山の自然」19号の原稿を募集 第1回編集会議開かれる

今年から会誌発行の係りが変わりました。中屋さんと北波さんのお二人が担当をしていただきました。お二人ともご多忙の中意気高く燃えておられます。8月から毎週水曜日の午後1時から編集会議を開くことを決めて、3日に第1回目が開かれました。できるだけ多くの会員さんのご登場を第一の柱にするのを決め、これまでご登場されていない皆さんに働きかけていこうと準備を進めていただきました。「9月10日の原稿締切日にしっかり集めようね」と申し合わせました。

里山クッキング

とりがらの青しそおろしのせ

材料 鶏もも450g、大根15cm、青しそ15枚、片栗粉・適宜、つけ合わせセロリ一本、揚げ油、調味料、塩、コショウ、醤油、

作り方 鶏肉は食べやすい大きさにそぎ切りにし、塩、コショウ少々を振り、片栗粉をまぶす。大根は摩り下ろして軽く水気をきる。青しそ7枚は縦に半分に切って千切りにし、大根おろしに混ぜる。セロリは筋をとって斜切りにする

170度の油で鶏肉をカラット揚げ、油をきる、皿にセロリを敷いて残りの青しそを乗せ、から揚げを盛る。食べる直前に大根おろしを載せ、好みの量の醤油をかける。

京都府水辺環境ネット事業企画提案採択される

29日のプレゼンテーションの結果里山の会の企画提案が採択されました。

提案の内容は

- 1、 **8月28日**(日)山城大橋下流・青谷川河口での**魚とりと水質検査**。
夏休みの締めくくりは木津川での魚とり・・沢山参加ください。FAXで申込み
- 2、 **10月15日**木津川の支流普賢寺川の最上流部での竹の切り出しから始める竹炭づくり
- 3、 **11月23日**木津浄水場の見学と上流下流の団体の活動発表を通じて水環境を学ぶ。

ツバメの観察会 8月6日(土)

集合 17時 近鉄向島駅改札口

作業のお手伝い募集

柿山の枯れ枝焼却作業を**8月5日 午前7時より9時ごろ終了**。併せて草刈りも行います。鹿背山の柿畑にご集合ください 水筒は必ず持参ください

鹿背山柿畑の消毒作業行われる 5 日

昨年発生した炭素病の枯れ枝の焼却作業が行われました。冬に選定した枝が積み上げられ放置されていたので再発生防止のために 5 日の午前 7 時から 9 時までの暑くならない前に作業を終了する予定で行われました。山本、黒光、森島、近藤、山村の 5 名で焼却されました。

世界遺産をたずねる会から 4 日

剣山と石鎚山の登山、牧野富太郎植物園見学、坂本竜馬館の見学を行いました。そのまとめの会が行われ 14 名中 10 名の出席で、それぞれの思い出を語りました。来年は三瓶山や熊野古道などといった希望が出されました。

会誌 19 号の編集会議の第 2 回目が開かる。 10 日

担当の北波さんと相談を受けた中西さんは、京田辺尾根筋ハイキングコースにある朱智神社の宮司の中川正章さんに原稿の依頼のために家を訪ねました。お会いすると気軽に了承を頂き、早速原稿をいただいてこられました。初めての会誌編集の責任をかぶって一生懸命に努力されていたいます。本日の第 2 回目の編集会議には代表顧問の古川章さんもお手伝いに来ていただきました。編集委員の皆さんの地道な努力がいまどんどん積み重ねられています。その結果応援してやろうという人の輪が少しずつ広がり始めています。北波さんはご主人の 1 周忌に当たり法事の段取りも一方で進めながら一日中事務所でご奮闘いただきました。ご苦労様です。

せせらぎ（中部住民センター）からロボット教室の協力要請がありました。

昨年のロボット教室の成功を目の当たりにされ、今年は私たちに協力の要請がありました。8 月 20 日午前 9 時から 4 時まで行われますので、時間に余裕があるというお方がおられましたらご協力をお願いいたします。昨年は玉田さんや坂田さん徳田さんから協力いただきました。

第 9 回里山講演会の演題が決まる

連日東奔西走でご奮闘中とのこと、ご多忙の中からご連絡をいただきました。「淀川の自然環境の保全と事前再生」でお話いただくことになりました。三川合流点から下流で起きている問題とその原因ならびに自然再生の試みです。この問題は今後木津川のあり方特に自然環境の保全のあり方の基礎となるものです。多くの方々のご参加をお待ちしています。9 月 3 日、中央公民館。

夏休み子どもの宿題のお手伝い 指導は光田重幸先生がおこなっていただきます。先生は昨年 NHKTV に出演された同志社大学の先生です。本会顧問をお願いしております。周りのお子さんにお知らせください。午前 9 時 30 分から 11 時まで行います。 8 月 26 日（土）

夏休みの締めくくりに木津川で親子で魚とりしませんか

8 月 27 日（日）10 時より 14 時まで 集合・山城大橋東詰め 指導・福井波恵さんです。この日は、木津川に住んでいる魚の見本を水槽でも見られます。魚をとる網を持ってきてください。また水筒と弁当は忘れないようにしてください。

皆さんお盆休暇いかがお過ごしでしたか。 11 12 13日

来年に開催される第23回京都木津川マラソン大会の駐車場予定地6000㎡の草刈作業を行いました。おのおの皆さん方は都合がつかず午後1時から作業を行うことになりました。真夏の真っ盛りの暑い中の作業でした。蔓がはびこり刈り払い機に巻きつき大困難な作業でした。山内さんや森島さんの仕事に対する執念で困難を克服して、初期の目的を達成することができました。暑い中本当にご苦労様でした。長い間放置されていたので不法投棄されたごみが散乱しています。片付けにご協力よろしく

会誌19号の編集会議 第3回目が開かる。 16日

現在会員210名の皆さんのうち会誌に投稿していない方々が半数近くおいでになります。会誌は会員の皆さんの力によってできるものだと考えまして、今回始めてこうした皆さん方に寄稿をお願いすることになりました。ご投稿いただいていない皆さん「身近な出来事」「会誌の感想」「良かった記事の感想」「今後に期待する声」など、どんどん気軽にご協力ください。

柿山・登山口・田んぼの草刈19日に実施 ご協力ください

9時・柿山(木津町鹿背山) **11時・尾根筋ハイク登山口**(京田辺市水取) **13時・田んぼ**(打田) 夏草の茂る時期を迎えました。各地の草刈が必要になってきました。今回は3箇所を1日の作業で終了することにしました。皆さんのご協力をお願いいたします。

夏休み子どもの宿題のお手伝い 植物について

指導は光田重幸先生 本会顧問

8月27日(土) 午前9時30分から11時まで 京田辺市立中央公民館

夏休みの締めくくりに**木津川で親子で魚とり**しませんか

8月28日(日) 10時より14時まで 集合・山城大橋東詰め

指導・福井波恵(前小学校教諭)さんです。

木津川の魚を水槽でも見られます。魚をとる網を持ってきてくださいね。また水筒と弁当は忘れないように。

里山結成10周年記念 第9回里山講演会

9月3日 (土) 午後1時より 京田辺市立中央公民館 大ホール

「淀川の自然環境の保全と自然再生」

講師 村上興正 先生 同志社大学嘱託講師 専門：保全生態学(野生生物対象)

第 2 回理事会のお知らせ 8 月 25 日午後 7 時 30 分

前半に予定された活動も順調に進み、このまとめと、後半の活動計画と財政の中間報告、そして京都府からの府民水辺環境ネット事業の進め方、木津川右岸左岸の植物調査、文化祭の取り組みなどについて、議論を進めより良い本会活動に盛り上げられるよう、ご審議をいただきます。立秋を過ぎたとは名ばかりの残暑厳しい折ですが、理事各位にはご出席をお願いいたします。

夏休み子どもの宿題のお手伝い 植物について

指導は光田重幸先生 本会顧問

8 月 27 日 (土) 午前 9 時 30 分から 11 時まで 京田辺市立中央公民館

夏休みの締めくくりに **木津川で親子で魚とり** しませんか

8 月 28 日 (日) 10 時より 14 時まで 集合・山城大橋東詰め

指導・福井波恵 (前小学校教諭) さんです。

木津川の魚を水槽でも見られます。魚をとる網を持ってきてくださいね。また水筒と弁当は忘れないように。

里山結成 10 周年記念 第 9 回里山講演会

9 月 3 日 (土) 午後 1 時より 京田辺市立中央公民館 大ホール

「淀川の自然環境の保全と自然再生」

講師 村上興正 先生 同志社大学嘱託講師 専門：保全生態学(野生生物対象)

秋の木津川の花を村田先生と一緒にたずねてみませんか

9 月 10 日 (土) 集合 近鉄新田辺駅 西口 午前 9 時 30 分

解説と指導 村田源 先生 (本会顧問)

会誌 19 号 原稿締め切り迫る 9 月 10 日

会員の広場の充実と全会員が登場していただく事を目標に 19 号を取り組んでいます。今年は本会結成 10 周年ですから、これまでの 18 号までに登場いただいていない皆さん全員から原稿を寄せていただこうとファイトを燃やしています。皆さんのご協力をお願いいたします。

里山クッキング ぜんまいの油揚げの炒め煮 (4 人分)

材料 ゆでたぜんまい・200g 油揚げ・2 枚 サラダ油・大さじ1 だし汁・100cc 酒・大さじ1
みりん・大さじ2 しょうゆ・大さじ1/2 いらりゴマ・大さじ2

作り方 1 ぜんまいは食べやすい長さに切り揃える 2 油揚げは油抜きしてたて半分に切って千切りに、3 鍋に油を熱してぜんまいをサツ炒め油下と炒め和せる、ここにだし汁を加え、酒、みりん、しょうゆを加える。汁気がなくなるまで煮る。バットなどの容器に開け、ゴマを振って仕上げる

第2回理事会決定

本会結成10周年記念講演会と祝賀会、11月27日と決まる
カレンダーの「花名」決まる タミズキ タヌキマメ カラスウリなど
京都府民水辺環境ネット事業の受託が決定 28日第1回開催
地域の自然と文化に学ぶみどりの体験活動支援事業補助金
交付申請書提出の報告 (後半の9活動に1/2補助)
第9回里山講演会と木津川の花をたずねる会に全力発揮を

木津川で親子で魚とり・68人の参加で大成功

8月28日は心配された台風も過ぎて絶好の川遊びの天候に恵まれました。一ヶ月前に通路の草を刈り取ってあったのでワンドまですいすいと進むことができました。会場は本流から流れ込む浅瀬が作られ、天然のワンド状態になってそして小川もあって、申し分のないすばらしい川遊びの舞台でした。小川を渡るときには小さな魚がいっぱい見られ、わくわく気分を盛り上げてくれました。木津高校の化学クラブの生徒さんと山田先生から水質調査のお話、続く福井先生から魚のお話があり、本流には絶対に近づかないことを繰り返し注意して、水質検査と魚とりに挑みました。午前中1時間午後1時間の取り組みでしたが、それぞれ大満足の日でした。皆さんからスタッフに心からお礼を言って帰られました。またの取り組みが楽しみです

里山結成10周年記念 第9回里山講演会

9月3日

(土) 午後1時より

京田辺市立中央公民館 大ホール

「淀川の自然環境の保全と自然再生」

講師 村上興正 先生 同志社大学嘱託講師 専門：保全生態学(野生生物対象)

今ツルボが満開です 秋の木津川の花を村田先生と一緒にたずねませんか

9月10日 (土) 集合 近鉄新田辺駅 西口 午前9時30分

解説と指導 村田 源 先生 (本会顧問)

まだ間に合う 会誌19号の原稿 お待ちしています
締め切り 9月10日

里山クッキング ひじきの梅煮 (4人分)

材料 ひじき・30g 梅干・2個 だし汁・カップ1杯 みりん・小さじ1 しょうゆ・大さじ1
みりん・大さじ2 しょうゆ・大さじ1・1/2 いりゴマ・大さじ2
作り方 1 ひじきは水で戻し、ざるに揚げ水を切る
2 梅干は種を取って果肉をちぎり、種も使うので取っておく
3 なべにだし汁とひじきを加えて火にかける
4 中火で汁気がなくなるまで煮て、みりんと梅干の果肉と種も加え、しょうゆを加え、箸で混ぜながらさらに汁がなくなるまで煎りつけて煮あげる。最後に種を除く。

作業協力をお願い	1	現地7時集合 柿山の消毒 通路草刈	4人必要
9月12日	2	10時30分 打田・田んぼの畦草刈	5人必要
	3	12時30分 ハイキング登山口など草刈	6人必要

里山結成 10 周年記念 第 8 回里山講演会

9月3日 「淀川の自然環境の保全と自然再生」 講師 村上興正 先生のお話から

淀川は1974年から始まった治水と河川公園の設置を目的とした河川改修によって、河川の自然環境は衰退の一途をたどり、いまや瀕死の状態になっている。この原因は河床掘削と川道を拡幅して直線化したこと、河川の陸と水を分断して広大な高水敷を作り、水と緑のオープンスペースと位置づけて野球場やサッカー場を河川敷に設置したことにある。そうした中で鶴殿の芦原の現状報告とそれらの場所の自然再生の取組の紹介があり、今後の河川環境保全のあり方や河川と人との連なりについてお話がありました。そして、現在失われつつある川と人との連なり、川のすばらしさを知ってもらい暮らしのなかになかに取り込むことができるかが今後の課題だと指摘されました。

今ツルボが満開です 秋・木津川の花を村田先生と一緒にたずねませんか

9月10日 (土) 集合 近鉄新田辺駅 西口 榎町

解説と指導 村田 源 先生 (本会顧問)

台風 14 号はうまく近畿を避けてくれました。一時はどうなることかと心配しました。いよいよ秋本番を迎えます。一足早く季節の移ろいを楽しんでみませんか、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

里山クッキング 里芋の煮ころがし (4人分)

材料 里芋・800g だし汁・カップ3 $\frac{1}{2}$ 酒・大さじ2 砂糖・大さじ3 $\frac{1}{2}$ みりん・大さじ2 醤油・大さじ3-4
作り方 1 里芋はたわしでこすりながら洗い、両端を切り落として皮を縦に厚めに剥き水に放す
2 たっぷりの水に塩、少量を加え里芋を入れて火にかける。これを繰り返し、里芋のぬめりを十分に取り除く。
3 なべに水気を切った里芋を入れ、分量のだし汁を加え、酒、みりん、醤油を加え中火で時々鍋をゆすって崩さないようにゆっくり煮ます。

作業協力のお願い 9月12日

- 1 現地集合 7時00分 柿山の消毒と通路草刈 4人で1時間の作業量です。雨天中止
- 2 現地集合 10時30分 打田・田んぼの畦草刈 4人で1時間の作業量です。少雨決行
- 3 現地集合 12時30分 ハイキング登山口など草刈 「ごみ持ち帰り」看板取り付けなど 4人1時間

花情報 ナンバンキセルが咲く

我が家のタカノハススキの小鉢(直径9cm)に、ナンバンキセルが7本かわいく咲きました。種はどこから来たのでしょうか。不思議です。

花情報 タヌキマメ花はもう少し後か?

里山の会の管理地にタヌキマメの花が咲いているかとたずねてみました。よくよく調べてみるとやっと見つけることができました。しかしまだ花がついていませんでした。写真で見ると本当にかわいい花で名前の通りの雰囲気を感じておりましたが残念でした。もう一度たずねてみようと思います。

スズメバチに注意

各地でスズメバチの被害が出ています。スズメバチは夏から秋にかけて活動します。8月中旬ころから攻撃的になります。被害を防ぐには、1 黒い部分を狙うので白っぽい服を着て帽子をかぶる。2 香りの強い化粧品を使わない。3 大きな動作をしない。「さされたらすぐ病院へ」に心がけましょう。一度刺されたことのある人は症状が重くなるので危険です。

結成 10 周年記念事業 カレンダー作り 第 1 次試作が出来上がりました。事務局で批評して改善を進めています

結成 10 周年事業 会誌「里山の自然」全冊の CD 化作業完成。約 20 時間を要しました。10 年の歩みも付録に加えて、ご希望者は本会事務局まで申し込んでください。有料でお譲りいたします。郵送開始は 11 月 1 日を予定しています。

まだ間に合う 会誌 19号の原稿 お待ちしています 締め切り 9月 10日

木津川の花をたずねる会京都で2例目の発見マルバツユクサ

17名の参加がありました。神矢樋門に全員が集めたところで山本理事長から挨拶があり、村田源先生と光田先生、そして上島先生からお話をいただきました。そして参加者全員が自己紹介を行いました。枚方市からインターネットの「ホームページ」を見て参加した男性がおいでになりました。ツルボの群生が見たいとのことでした。深田さんや大島さんもおいでになっていました。10時30分ごろから下流に向かって進みました。村田先生や光田先生を囲んでいろいろ質問が出されました。セイバンモロコシをしがんでみますとサトウキビの雰囲気です。ほんの少し甘味が感じられました。これまでエノコログサと思っていたものがザラツキエノコログサという外来種でどんだん広がっているなどのお話がありました。**タヌキマメ が約70株見事な豆を付けていました。** 初めて見る皆さんは愛嬌ある姿に見入っていました。この日はジャコウアさん飛んでいました。昼ごはんをエノキの下で食べました。しようとしたとき「これは・・・」と、村田先生が声を上げられ**マルバツユクサ**でした。これは京都府下2番目の発見で、では新発見です。熱帯地方に生息する植物で、非常に珍しかったです。皆さん大感激でした。ツルボの群生にも堪能しました。**ワラサイコ、メガルカヤ、オオバクサフジ**など絶滅危惧種にもたくさん出会えました。大満足でした。



ゲハもたく
そして出発
した。
京田辺市
いとのこと
た。また**カ**

里山クッキング 豆腐の蒲焼 (4人分)

材料 木綿豆腐・2丁 きゅうり・1本 蒲焼のたれ(醤油大さじ2、みりん大さじ2、砂糖大さじ1)
塩 小さじ1/2 サラダ油大さじ1~2 練りわさび適宜
作り方 1 豆腐は重石をして水切りをする。 2 子鍋に蒲焼のたれの調味料を入れて中火にかけとろみがつくまで煮詰める。 3 キュウリは小口切りにして塩を振ってしんなりとさせ、固く絞る。 4 豆腐は半分に切って厚みを3等分にする。 5 フライパンに油を熱し、豆腐を並べて入れ、時々押さえつけて水分を抜きながら両面をこんがり焼き、色がついたら取り出し熱いうちにたれを両面に塗る。 6 皿に盛ってキュウリ、わさびを添える。

作業協力ありがとう 9月12日延べ15人で

1 柿山の消毒と通路草刈 **2** 打田・田んぼの畦草刈 **3** ハイキング登山口など草刈 「ごみ持ち帰り」看板取り付けなどすべてが完了しました。11日の午前に鹿背山が完了、午後から打田の田圃の川の土手を残して60%が進みました。12日には午前6時30分に出発をして7時から8時過ぎに炭素病の対策の噴霧が終了、そして通路の草刈が出来上がりました。10時15分から打田の川の土手の草刈で、12時に終了。コンビニの弁当を買って事務所に帰ると女性の皆さんがお茶を冷やして待ってくださいました。汗をいっぱいかいていたので本当においしかったです。感謝しています。午後から京田辺尾根筋ハイキングの登山口の草刈、その後南と北に分かれてコースの草刈、そして「ごみ持ち帰り」と「畦に入らないこと」の二種類の看板 13枚を立てました。最後にコース中ほどの高船の公道100mの草刈を全員で行って解散しました。ご参加くださった皆さん暑い中本当にご苦労様でした。

稲刈り作業 参加者募集中 9月18日 打田炭焼き窯に集合

春に田植えをした田んぼに見事に穂が実りました。濃い緑が黄金色に輝きはじめました。実りの秋本番です。うれしい実りを体験してみませんか。里山の会では新米のご飯でおむすびを食べていただく準備を進めています。とり立ての新米ご飯を食べに来てください。皆さんと一緒に収穫したお米キヌヒカリ100%の玄米30kgを先着30名様に限りお分けいたします。昨年注文された皆さんからどんどん注文が来ています。10kg袋も用意しています。本日13名分が残っています。ご注文は早い目をお願いします。

稲刈り作業 絶好の日和のもとおいしいお米がいっぱい収穫

佐藤誠さんから詳しくキヌヒカリ(米の品種)についてお話がありました。8年間も栽培を繰り返し新品種を作り出していく苦労があること、生産量では全国2位になっていること、しかし栽培には苦労があることなどが披露されました。

全員が勇んで田圃に入って稲刈りをしました。奈良から来た「まゆちゃん」もお母さんと一緒に稲刈りをしました。稲を束ねる作業、束ねた稲を運ぶ作業、はさ掛け作業、落穂ひろいや脱穀したもみを乾燥機に投入すること、そして乾燥できたもみのもみすり、そして玄米ができること、玄米を30kgづつ紙袋につめて口を閉める作業を、行いました。この日は刈り取りから籾摺りまで一貫作業を全部体験しました。一日でこれだけの作業を一挙に行うことなど、お米を買って食べている人々にとっては驚きのことでした。

お昼に里山の会から、前日に精米された新米のおにぎりが振舞われ、皆さん本当に「おいしいおいしい」の連発で、私たちが作った丹波の黒大豆の味噌を使った味噌汁もサービスされ、大満足顔でした。

午後から田圃にかぶさって日陰を作っている竹藪の伐採を行いました。皆さんなれない作業でしたが、全員が一致協力して1時間ほどで見事に整理できました。

里山クッキング 本格栗ご飯 (4人分)

材料 栗(生)400g 米4カップ だし汁740cc
調味料 酒 大さじ3、 塩 小さじ1、 砂糖・醤油各2

作り方 栗は30分ほど、水につけ皮をふやかして栗の下を少しきり、切り口から外の硬い皮と、しぶ皮もむいて半分に切り水に10分さらす。 米は洗ってざるにあけ、30分ほど置く
炊飯器に米、だし汁、栗、調味料を入れ、普通に炊く
炊きあがったら10分ほど蒸らし、全体を軽く混ぜる

文化祭出展の基本方針が「ハイキングコースをメインにした結成10周年記念の展示」にすることになりました。**10月10日 コースの撮影会**を行います。

コースの全容を写真で解説するために、見所の撮影をします。当日午前9時に普賢寺小学校前に集合して各方面から歩きます。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。あなたの一枚が文化祭の話題作品になるかもしれませんよ。腕を振るってください。デジカメでもネガ写真でも結構です。

京田辺中部住民センターに木津川の魚の入った里山の会提供の水槽の展示が決まる。

8月28日に魚とりを行いました。そのときの魚がようやく展示できる状況になりましたので、21日水槽の置き場所を決定しました。福井波恵さんが近日中に魚を入れてくれます。どんな魚なのか気になります。同時に説明文も一緒に吊り下げますのでわかりやすい解説になります。ひとりでも木津川について親しみを持っていただければと期待しています。

10周年記念事業にも1項目掲げて自動車の購入を検討してきました。作業道具や人員送迎のために必要性が非常に高いものですが、保険料や車検費用、燃料そして、稼働日数などを勘案してみると大変厳しいという見通しの下で、利便性の向上など種々検討してきました。

これまでは各個人の車にご無理をお願いして来ました。昨年来より受託事業や催しの備品運搬回数も多くなりました。今日までご協力くださったお方が諸般の事情で廃車され、厳しい局面に立ち至りました。

一方この都度、車購入の資金として35万円が寄付としてお寄せいただきました。ありがたいことです。先週と今週の2日間懸命に論議してきましたが、次のような問題(維持と運用経費と運転手の確保や車の管理と駐車場)などが浮かび上がりました。今理事会では真剣な相談をしています。

中部住民センターの「木津川の魚たち」の水槽に魚が入りました。

27日の午後福井波恵さんが沢山の魚を持ってきてくれました。二つの水槽もきれいになって、気持ちよさそうに魚たちが泳いでいます。ホールの子どもたちも目を輝かせ、この魚の名前は？と質問を矢継ぎ早にしていました。人の手が加えられたものではなくて、あの木津川に生息していた魚そのものですよと説明してやると、きれいだねと感激していました。なんといっても自然に生息している実物・本物を見られる機会を提供することは意義のあることだと思いました。市内のあちこちの施設にこうした本物に接することができるようにすること、私たちが努力しなければいけないのではないかと気がつきました。早速この感想を事務局会議で発言しました。良い意見だとの評価がありました。こうした水槽の提供を求めて、自然に接することの少ない子どもたちに、楽しい場所の提供ができればと思います。(メダカ、タイリクバラタナゴ、カネヒラ、カワムツ、ヨシノボリが入っています)

10月10日 コースの撮影会にふるってご参加を

午前9時に普賢寺小学校前に集合

ざっとコースを調べてみますと27箇所の見所・説明箇所があります。これは、花と鳥を除いています。これらを加えますと相当な急所になってきます。コースの全容を写真で解説するために、見所の撮影をお願いします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。あなた一枚が文化祭の話題作品になるかもしれませんよ。腕を振るってください。デジカメでもネガ写真でも結構です。

カレンダー印刷1/3出来上がる

仕上げ作業にご協力を

美しい仕上がりになってきました。里山の会のプリンターでの印刷スピードは1枚1分かかります。坂田さんが大奮闘して印刷し続けています。いよいよ仕上げの段階になりました。黒竹の艶出し作業にご協力ください。事務所まで電話をお待ちしています。

10月度事務局会議のお知らせ

5日 水曜日午前9時30分 本会事務所
社員の皆様もご出席ください

京都府民労働部から取材に

専門員の森健一様が9月20日に取材にこられました。京都府下のNPOの紹介をされるそうです。山本理事長が対応しました。

事務局会議から

絶滅危惧種植物を訪ねるシリーズの開催を検討をしました。貴重な植物の公開は所在場所が明らかになることから盗掘などを心配して踏み切れませんでした。このままでは、保存活動に協力していただける方が枯渇していくのではないかと考えられるので、こうした取組を通じて協力者を得ていくことが話題になりました。

竹炭作りに参加しませんか

10月15日 切出しと寸法切り 竹割り、節とり、束ね作業です。ご参加お待ちしております。

琵琶湖・淀川流域圏の再生計画に係わる**流域交流会検討会**の委員に山村常務理事が選出され、第1回検討委員会が京阪京橋で開かれる。交流会では分野別部会や地域部会の設置、そしてNPOの自主性によって運営され、緩やかな交流を促進する役割をになうとされています。

58号でお知らせした結成10周年記念講演会と祝賀会の開催日は、**10月26日土曜日**です。27日は誤りでした。**お詫びして訂正します。**

里山クッキング シメジマヨネーズのホイル焼 (4人分)

材料 シメジ2パック ベーコン4枚 マヨネーズ大さじ6 醤油小さじ4
作り方 1 シメジは石つきを除いて小房に分ける。 2 ベーコンは1.5cm幅に切る。
3 アルミホイルの周囲を立ててオープン焼のお皿を作りシメジ、ベーコンを入れ、マヨネーズを所々に乗せる。醤油を振り、4 オープントースターで5分焼く。

10月10日 コースの撮影会にふるってご参加を

午前9時に普賢寺小学校前に集合

ざっとコースを調べてみますと 27 箇所の見所・説明箇所があります。これは、植物花と鳥を除いています。これらを加えますと相当な急所になってきます。コースの全容を写真で解説するために、見所の撮影をお願いします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。あなたの一枚が文化祭の話題作品になるかもしれませんよ。腕を振るってください。

やましろ里山の会「絶滅危惧植物保護指導員」募集

これまで里山の会が発見確認してきた絶滅危惧植物の保護をはかるため、保全作業と広報指導を充実させることを目的とする。(一部非公開の種類を含むため、守秘の誓約があります)

- 応募資格
- 1 やましろ里山の会員であること (未加入の方はご加入ください)
 - 2 絶滅危惧植物の保全作業に参加できること
 - 3 交通手段は各自で準備できること

誓約書の提出 4 生育地を他人に紹介したり、案内を絶対しないことを誓約する

経費と活動 参加費無料 無報酬 強制や義務も無し 自主参加 行動単位 2 時間程度
作業経費の個人負担なし

連絡方法 里山の会ホームページ・週間ニュース、希望者にはメール発信をする

体制 責任者 里山の会理事長 山本雅晃 事務局 里山の会

募集人数 15 人 応募者多数の場合は選考審査を行います。

募集期間 10月10日~10月31日まで

応募書類 住所 年齢 氏名 連絡方法 誓約書の提出(応募の動機 400文字程度)
主な活動経歴と特技・資格など

審査委員 理事長 常務理事 理事 顧問

第1回 参加者会議 12月9日 金曜日 午後6時30分 京田辺市中央公民館

問い合わせ先 やましろ里山の 〒610-0331 京田辺市田辺深田15

0774-64-4183 (FAX 兼用)

竹炭作りに参加しませんか

10月15日 切出し、寸法切り 竹割り、節とり、束ね作業です。ご参加お待ちしております。

つる籠作り 参加者申し込みを

10月22日(土) 午前10時

募集人数 15名 1000円必要

62号でお知らせした結成10周年記念講演会と祝賀会の開催日は、11月26日土曜日です。

お詫びして訂正します。

会誌19号製本作業 10月19日午後1時
お手伝いをお願いします。約3時間の予定です。多くの方々のご協力お待ちしております。

里山クッキング モロヘイヤと豆腐のスープ (4人分)

材料 モロヘイヤ1束、えのきだけ1袋、木綿豆腐半丁、サラダ油大さじ2、酒大さじ2
固形スープの素2個

作り方 1 モロヘイヤは葉を摘み、2~3cm幅に切る、えのきだけは根元を落とし2~3cm幅にきる。豆腐は厚みを半分にして1cm幅の棒状に切る。

2 鍋にモロヘイヤ、エノキを入れいため、しんなりしたら、酒、固形スープの素、水4カップ豆腐を加えて中火にし、5分煮る

3 仕上げに塩、こしょうで味を調える。

尾根筋ハイキングコース撮影会

光田先生も参加 12人で前半部分踏破

アキザツシロラン発見、121本に樹木名札の仮付けできる。オオタカ飛翔確認 ドングリと栗、アケビなどムラサキシメジ、ドングリ茸にもである。本当に豊かな自然そのもののコースを確認する。ふかふか路で女竹 真竹、孟宗竹、淡竹、矢竹などにも一度に接することができた。コース前半部分のすばらしさを堪能。

ぜひ皆さんのご参加をお勧めします。

11月20日ハイキングにお越しください。新しい発見がありますよ

会誌19号 **製本作業** 19日午後1時から
お手伝いを求めています。4時には終了予定です
印刷は15・16日 事務所にお越しください

つる籠作り 参加者募集

10月22日(土) 参加費1000円

京田辺市立中央公民館 先着15名

至急申込みを本会事務所まで

京都府環境部から地域の自然と文化に学びどりの体験活動支援事業補助金の**交付決定**がありました。後半の活動に資金援助を受けることができました。これまで10年間の幅広い活動と成果が評価されたものです。これまでの皆さんのご苦労が実りました。

里山クッキング 餃子 4人分

材料 豚ひき肉100g 白菜200g にら6g
長ネギ1/2本 しょうが1片 餃子の皮40枚

調味料 ごま油小s1 塩s1/3 胡椒 醤油

- 作り方**
- 1 白菜 にら みじんぎり 塩をふり、絞って水気を切る
 - 2 長ネギ しょうがみじん切りにする
 - 3 ボールに1,2とひき肉を入れてよく混ぜ合わせる
 - 4 3を皮で包みフライパンにサラダ油をひき、餃子をならべて焼き目をつける
中火にしてカップ半分の水を加えふたをして蒸し焼きにする
 - 5 好みのタレをつけていただく

竹炭作りに皆さんのご参加を 15日(土)

先日同志社大学でそうめん流しに使われた竹の有効利用するために、寸法切りと束ね作業になります。当日は雨天との天気予報ですが、10m四方の大型テントを張って行いますので多くの方々のご参加をお願いします。

集合は午前9時 打田炭焼き窯場です。

A3 用紙印刷可能のパソコン・プリンターを新購入しました。これまでの複合機がカレンダー作製のために2000枚程度連続印刷中に動かなくなりました。修理のために10日間使用不能になりますので、機能アップを図りました。一般使用では、比較的優れたもので、威力を発揮してくれると期待が高まっています。

スキャナーも揃ってきましたので今のところ一通りの機能を備えた事務所になりました。会員の皆さんのご利用にもお越しください。

「つる採り」にご協力を

17日月曜日午前9時事務所集合です

お手伝いをお願いします。

京田辺市文化祭出展準備計画

尾根筋ハイキングコース紹介を全面に里山道のビオトープ、年表、草の一生、カレンダーを左右の袖にイメージしました。古川さんが早速、枯れ小枝を持参していただきました。

11月2日 展示物事前確認作業

11月3日 柿採取と選別、味噌詰め、リーフ印刷

11月4日 本番会場への展示 模擬店の設営

11月5日 集合9時 説明と販売 夕方柿再採取

府民水辺環境ネット事業 準備進む

飲み水の現場から考えよう 11月23日 祭日

午後1時 現地見学会準備(府営・木津浄水場)

- 1 施設見学と浄水についての説明
- 2 上野遊水地協議会会長西山甲平さんの報告
- 3 木津高校化学クラブの報告(予定)
- 4 綴喜土地改良組合

理事長上村卓男さんの報告(予定)

つる籠作りと秋の木の实探し 参加者募集

17日のつるの採取でも昨年より多く集めることができました。ふるってご参加ください。楽しい作品を作ってみましょう

実りの秋はなんと言ってもドングリです。野生の動物の冬を越す食物のナンバーワンです。マテバシヤアラガシなど皆で集めて見ましょう。身近にこんなに種類があるのかとキット驚かれることでしょう。

10月22日 京田辺市立中央公民館前集合です。

午前10時より12時まで

参加費 籠作り500円 ドングリ無料

会誌19号製本作業

17名のお手伝い、2時間で完成

144ページで、上島裕顧問の巻頭の言葉に始まり亀岡市、奈良市、吹田市、枚方市などからの寄稿に加えて、初登場会員が10名ありました。前号に引続きパソコン化を徹底的に追究し、原稿打ちに、70歳代の皆さんも多数加わっていただき協力者が一挙に増えました。

時間に余裕が生まれ、出来上がった19号を手にして、早速合評会を行いました。カラー原稿を白黒方式に返還する時には、出来上がりのイメージを描かなければ読みやすいものにできないことがよく解った。懐かしい牛による農耕写真が良かった。2段組編集も良いのではないか、などの声がありました。

里山クッキング 納豆の落とし揚げ 4人分

材料 納豆100g ジャガイモ400g
青ねぎ4本 チリメンジャコ大さじ4
ししとうがらし8本 揚げ油

A(溶き卵1ヶ、片栗粉大さじ2~3、酒)

- 作り方**
- 1 ジャガイモは皮を剥いてすりおろし、水分を軽くきる
 - 2 ボウルに納豆、青ネギ、チリメンジャコ、Aを入れて混ぜ合わせる
 - 3 160度の油に切り目を入れたししとうを素早く揚げる
続いて2をスプーンなどですくって落とし入れ色よく揚げる

竹炭作りご苦労様でした。

あいにくの雨降りでした。巨大なテントが用意されて、強い雨にもびくともせずに悠々と作業ができました。前日に運び込まれた多量の竹を切断する人それを割る人そして束ねる人、流れ作業で見る見るうちに処理されました。ざっと2窯弱の原料が積み上げられました。

参加していただいた皆さんは、19名のうち女性は3名でした。はじめての竹割り作業や竹の束ね作業はぎこちなかったものですが、11時の休憩のあとでは見違えるような手さばきでスピードアップでした。昼食後の山間地での農業の大切さ、そして水を守る山仕事の重要さが、わかりやすく解説いただきました。

結成10周年記念会員贈呈の2006年カレンダー

180本が出来る。残り80本仕上げ作業で完成見込み、お手伝いにお越し願えませんか。

結成10周年記念事業

結成10周年記念講演 光田重幸先生(同志社助教・本会顧問)の仮題「植物から見た山城」が決まりました。11月26日 土曜日 午前10時から京田辺福祉センター3階大ホールです。多くの皆さんのご参加をお願いします。

府民水辺環境ネット事業 準備進む

飲み水の現場から考えよう 11月23日 祭日

- 午後1時 現地見学会準備(府営・木津浄水場)
- 1 施設見学と浄水についての説明
 - 2 上野遊水地区連絡協議会会長西山甲平さんの報告
 - 3 中流域の水管理については綴喜西部土地改良区理事長の上村卓男さん(元府議)の報告が決まりました。

草刈り作業

応援頼みます

- 21日 柿山(鹿背山)現地集合 9時より正午
- 28日 木津川植生維持管理地 9時より2時
集合近鉄鉄橋下 3組に分かれて実行
尾根筋ハイキングコース**樹木名取替え**
- 23日 午前9時事務所集合 正午終了

設立10周年記念を祝って カレンダーを発送

黒竹でまとめられた里山カレンダーが出来上がったばかりの会誌19号と一緒に全会員に届けられました。4月から里山の会らしい写真を持ち寄り審査して、280部を印刷しました。カラープリンターの調子が悪くなり、新機種を購入して、ピッチを挙げました。

里山の会の総力を絞ってはじめて製作した印刷以外すべて手作りの製品です。皆さんの努力の結晶が実を結びました。

購入ご希望は、実費1000円プラス送料(180円を)下記口座に振り込んでください。年内に間に合うように送付いたします。(先着50部まで) 00950-7-46840(郵便振替口座)

設立10周年記念講演会

11月26日 土曜日 午前10時

京田辺福祉センター 3階大ホール

講師 同志社大学助教授 光田重幸 氏

演台 「南山城の植物から見えてくるもの」

京田辺文化祭に参加作品準備中

設立10周年事業として尾根筋ハイキングコースの大看板を中心に据えて、コースの見所を展示発表します。また10年間の活動を年表にまとめたものと、山から里山、小川から池、大河へとの水の流れをピオトープで表現しようと工夫しています。皆様のご参加とアイデアを提供ください。アイデアなどは事務所に連絡ください

里山クッキング

しめじマヨネーズのホイル焼き 4人分

材料 しめじ2パック ベーコン4枚
マヨネーズ大さじ6 醤油小さじ4

作り方 1 しめじは石つきを除いて小房に分ける。ベーコンは1.5cm幅に切る。
2 アルミホイルの周囲を立ててオープン焼きのお皿を作りシメジ、ベーコンを入れ、マヨネーズをとこところにのせる。
3 醤油を振り、オーブントースターで5分焼く。

府民水辺環境ネット事業

飲み水を現場から考えよう

11月23日(祭日)午後1時

府営・木津浄水場(木津町吐師)

- 1 施設見学と浄水についての説明
- 2 上野遊水地区連絡協議会会長西山甲平さんの報告
- 3 中流域の水管理については綴喜西部土地改良区理事長の上村卓男さんの報告
- 4 木津高校化学クラブ生徒の「木津川の水質調査から見えてくるもの」報告

当日出席者には粗品を提供 先着50名まで
参加希望者はFAXまたははがきで事務所まで申込みをしてください 氏名・電話を記入

草刈り作業

応援頼みます

28日 木津川植生維持管理地 9時より2時
集合近鉄鉄橋下 3組に分かれて実行

尾根筋ハイキングコース樹木名調査

参加者募集

10月30日 日曜日 雨天決行 午前9時集合 天王バス停

京田辺市文化祭 5日・6日
京田辺市中央体育館
設立10周年を記念して

尾根筋ハイキングコースを展示発表

大型コース説明看板を中心に主な見所の展示コースの設置した案内看板、解説看板、距離標の展示、魅力いっぱいのコースを解説しています。そして左右には花の生い立ち標本と記念カレンダー、手前には水を主題にしたビオトープと会誌やハイキングコースマップ、諸行事のチラシを配置します。

展示リハーサルの印象から、屋外展示の大型看板の迫力が迫ってくる魅力満点の取組になっています。

成果物の販売では、1月に作った黒大豆の味噌の販売は毎年大好評で、1時間で完売になります。必要な方は早目にお越しください。

柿販売は、試食を行います。とにかく一度口にするとそのおいしさは忘れることができません。柿とはこんなにうまいのかとおっしゃいます。

ご友人などを誘って試食をしてください。

私たちの最も力を入れた成果物を味わってください。

先日準備した「つるかご」も格安の値段でお譲りいたします。

里山クッキング 牛こまと牛蒡の卵とじ (2人分)

材料 卵2個、牛こま切れ肉200g、牛蒡1/2本

A(だし 1.5カップ、醤油大さじ1/2、みりん大さじ1、塩少々)

ゴマ油大さじ1、粉山椒少々

- 作り方
- 1 牛蒡はさがきにしておく
 - 2 フライパンにゴマ油を熱して1を乗せ炒める
 - 3 火が通ったらAを加え、煮立ったらアクをとる。7~8分で味を含ませ、煮汁の煮立っているところに、とき卵を流し入れふんわり火を通す。
 - 4 器に盛り、粉山椒を振る

竹炭作りに皆さんのご参加を 13日(土)

初日の竹切りと竹割り束ね作業は、雨天の中の難作業でしたが、皆さん一生懸命に取り組み時間には一窯分以上の原材料を積み上げました。

二日目はいよいよ炭窯に詰め込み着火することになります。作業時間は午前中に終了予定です。ぜひ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。
午前10時集合・普賢寺打田

柿山に親しむ会

今年の柿は毎月の草刈り作業と炭素病予防対策が功を奏して、近年にないできればえとなっています。味もそこそこ通常の味わいです。たくさんのご友人を誘ってお越しください。お待ちしております。

11月12日 土 午前9時30分

集合 JR木津駅又は木津振興局前

参加費 500円

「飲み水を現場から考えよう」

参加者募集

11月23日 木津町吐師

京都府営水道事務所 木津浄水場

参加費無料

報告者決まる

水鳥ネット巨椋池 土地改良区

理事長 茨城定夫 氏

上野遊水地区連絡協議会

会長 西山甲平 氏

木津高校化学クラブ 生徒

施設案内と水道の仕組み

場長 鹿田圭二 氏

当たり前のように使っている水ですが、そこには関係者のみならず沿線各地で係わっている皆さんが数多くおられます。下流域に暮らす人々は、ほとんどその苦勞を理解しておりません。こうした知られていない一面を、当事者からうかがうチャンスとして準備しました。

設立10周年祝賀会・・50人の出席返事

まだ席に余裕があります。都合をつけてご出席ください。 みんなでこの日を喜び合いましょう。祝賀会場のウエルサンピアの支配人さんは過日の文化祭に私達の展示物を観ていただきました。時間を作って尾根筋ハイキングコースを歩いてみたいとおっしゃっていました。祝賀会の会場設営にもできるだけのご協力をするので頑張ってくださいと激励を戴きました。この間に植物ではコバナノシロワレモコウやオオミズオオバコから始まって最近でマルバツクサの発見まで(絶滅危惧種35種を含む)また木津川堤防での環境保全対策の実施、春秋の講演会の開催、国交省や、京都府からの活動助成や事業受託、民間団体の活動費助成申請の結果補助金交付などNPO里山の会の活動は当初30万円予算から今日では330万円に決算額の増加になりました。事務所設置や備品や道具の充実、ホームページの開設とパソコンクラブの発足、文字通り幅広く活動の面的な広がりが見られます。また地道な調査活動からまとめた「木津川の花ごよみ」は里山の会の誇りであります。そして、活動助成を受けて行った尾根筋ハイキングコースの設置は、これからも多くの人々に喜んでいただける事業です。こうした数多くの成果は、会員の皆様の長年のご協力があって作り上げることができました。こうした成果を一堂に会して喜び合いたいと計画しております。ぜひお越しください。

設立10周年記念講演会近づく

多くの皆様のご参加をお願いします。

11月26日 土曜日 午前10時
京田辺福祉センター 3階大ホール

講師 同志社大学助教授 光田重幸 氏
演題 「南山城の植物から見えてくるもの」

11月20日 里山ふれあいハイキング

尾根筋ハイキングコースを歩きます。
午前10時普賢寺小学校前集合
参加費無料 資料希望者には100円(解説パンフ)

11月19日 竹炭を作ろう 竹炭の窯出し

打田炭窯場 午前10時 集合 14時まで 弁当必
同志社大学生(ソーメン流しでギネスブックに挑戦)の責任者の飯田哲史君ほか数名も参加予定

12月10日 府環境フェスタ 本会が発表

水辺環境ネット事業を受けた5団体が取組を報告します。午後1時からで2番目に登場します。ご参加ください。場所 近鉄竹田下車 送迎バス有

府民水辺環境ネット事業

飲み水を現場から考えよう

11月23日 祭日 午後1時
府営・木津浄水場 (木津町吐師)

- 1 施設見学と浄水についての説明
 - 2 上野遊水地区連絡協議会会長西山甲平さんの報告
 - 3 中流域の水管理については巨椋池土地改良区理事長の茨木定夫さんの報告
 - 4 木津高校化学クラブ生徒の木津川の水質調査から見えてくるもの報告
- 当日出席者には粗品を提供 先着50名まで
参加希望者はFAX またははがきで事務所まで申込みをしてください 氏名電話を記入

里山ふれあいハイキング 京田辺の最高峰に登ろう 11月20日 日曜日

絶好の日和で、尾根筋ハイキングに48名の参加で、大賑わい
天白先生や大田さん中岡さんの解説で参加者きてよかった。すばらしい一日有難うとの声大いに寄せられる。

設立10周年記念講演会近づく

多くの皆様のご参加をお願いします。

11月26日 土曜日 午前10時
京田辺福祉センター 3階大ホール

講師 同志社大学助教授 光田重幸 氏
演題 「南山城の植物から見えてくるもの」

11月19日 竹炭を作ろう 竹炭の窯出し作業

好天に恵まれ、作業日和でした。打田薪炭組合の皆さんも朝早くから準備をなさって、運び出せばいいという状況でお待ちいただきました。今年2番窯で、火付きがなかなかで調子が上がりず水曜日の朝まで煙が出ていたとのこと、出来上がった竹炭や釜の内部にはまだまだぬくもりがありました。竹炭はうまく出来上がっていました。早速選別し、長さを確認しながら、寸法に切りそろえ、箱詰めをしました。参加者はそれぞれ、釜に入って汗だくだくになって炭出しをしました。乾燥が良くできていたので、竹酢液の抽出はいつもの1/10でした。残った竹を切りそろえ三番窯として着火しました。

府民水辺環境ネット事業、飲み水を現場から考え

ように40名の参加で会場が満員に11月23日府営・木津浄水場で行われました。午後1時ちょうどに理事長の挨拶に引き続き場長の鹿田さんから浄水の仕組みの説明、そして浄水装置の見学と解説をいただきました。部屋に戻って上野遊水地区連絡協議会会長西山甲平さんから戦後の水害の報告と、遊水地を抱える農家と農業の困難の現状が報告され、中流域の水管理については巨椋池土地改良区理事長の茨木定夫さんが水の大切さと米作りには大きな負担をして水を購入しているお話があり、木津高校化学クラブ生徒さんたちの木津川の水質調査から見えてくるもの報告があり、上粕川などの水質が心配だとの検査報告がありました。

12月10日 府環境フェスタ 本会が発表
水辺環境ネット事業を受けた5団体が取組を報告
します。午後1時から2番目に登場します。
ご参加ください。場所 近鉄竹田下車 送迎バス有

ミカン収穫ボランティア大募集

12月1日 午前9時 JR多賀駅集合 参加費
無料 弁当水筒持参 今年は大豊作、たくさん
の皆様のご参加を待っています。

里山クッキング 中華屋さんのカレー

材料 ジャガイモ2個、にんじん1本、玉葱1個、豚薄切り肉200g、揚げ油適量、水(ルウの箱の表示に合わせる)。A約4~5カップ、にんにく(すりおろす)少々、カレールウ、小1箱作り方 1 ジャガイモ・ニンジン
は皮をむき、玉葱は薄切りにし、豚肉は2~3つに切る。2フライパンに油
を入れ火にかけ、温度が低いうちにジャガイモとにんじんを入れ、

徐々に温度を上げて、中まで火が通ったら引き上げる。3 なべにAと
玉葱を入れて火にかけ、玉葱に火が通ったら火を止めてカレールウを入
れる。4 ルウがとけたら再び火にかけ、弱火で5~10分位煮、とろみ
がついたら豚肉をヒラリヒラリと入れ肉に火が通ったら牛乳を入れる。
煮えたら揚げたジャガイモ・にんじんを混ぜ合わせる

設立10周年記念・講演会に62名の参加

光田先生が地域ごとの特徴を調査結果から講演いただきました。多くの皆様のご参加ありがとうございました。講演に先立って絶大なご協力を戴きました打田薪炭組合に感謝状を贈り、謝意を表しました。



(京都新聞が取材にこられました。27日山城版)

会場からは、竹の進出について、各方面から意見が続出し、南山城地域の危惧されている実態が、明らかになりました。関心の高い竹問題について、時期を改めて正面から取り上げるべきだと思いました。

設立10周年祝賀会・・・50人の出席で盛り上がる

午前中は京田辺福祉セン
は引続き会場をウエルサン
大きな催しの連続でした。
ん、乾杯の音頭を上島裕顧
した。藤ノ井律夫さんが所
ンズ京田辺」の出演で阪神



ターでの記念講演、午後に
ピアに移して記念祝賀会と
開会の挨拶は湯川幸子さ
問によって祝宴が始まりま
属されている「ハーモニカ
タイガースの応援歌から演

奏が始まり、合計4曲が演奏され大喝采で盛り上がりました。歓談の後、堺市から来られた河村さんの軽妙なお話に引き込まれるように手品が披露されました。得意のシュロの葉によるバツタが天空高く舞い上がりました。

各テーブルから順次10年を祝うスピーチがあり、この10年の足跡を振り返り私たちが実行してきた実績に大きな自信と確信を持つことができました。有意義な1日でした。

12月4日 恒例の里山料理教室 お越しください。

集合 午前10時里山事務所 又は山城大橋西詰め 参加費 1000円 手袋・雨具持参
差し入れ大歓迎(飲み物・料理) 一年の労をお互いに慰労しながら新年に向かう決意を披露
します。木津川の刈り草処分班と料理準備班で午前中は作業分担をします。

12月10日 府環境フェスタ 本会が発表

水辺環境ネット事業を受けた5団体が取組を報告します。午後1時からで2番目に登場し
ます。ご参加ください。場所 近鉄竹田下車 送迎バス有
京都の勤労者登山連盟が12月17日に尾根筋ハイキングに来られることがインターネット
で報道されています。京都では有名な団体です。大いに歓迎したいと思っています。



ミカン狩り ボランティア

今年はミカンの実りも近年にない豊作で、大変たくさん黄金色でした。源人さんから大量の収穫になるのではと、早くから連絡が入っていました。ミカン摘み作業への参加が少なければ、夕方までに終わらないのではないかと予想していました。ところが良い天候に恵まれて22名もの出席がありました。初参加の方が少なくベテランぞろいでした。手際よく作業が進み昼ごろになると用意された籠が満杯になり、午後からはダンボール箱を使わなくてはならないほどの収穫でした。午後3時には全部収穫することが出来ました。ご苦労さま

里山料理教室

15名の出席で楽しいひと時を過ごしました。朝早くから強烈な雨が降っていました。会場を久しぶりに木津川河川敷に移すことで準備をしていましたが、この雨で急遽里山事務所になりました。昨年も雨天でしたのでテントを張るのはお手の物です。皆さんがこられたときには仮設の屋根は出来上がっていました。雨天を心配して9時30分にはスタッフの顔が揃いました。日ごろには無いことですが、まずは仕事の前のコーヒーをいただいてからと腰を下ろし、段取りを打ち合わせました。一息ついたところで、火を起こす人、倉庫を整理する人、それぞれが手分けをして段取りよく準備が進みました。炭火で秋刀魚を焼く人、豚汁

を煮る人、大根をおろす人、めいめいに一生懸命に働きました。会場が整い、山本理事長の一年の

成果と皆さんの強力な協力によって大きな仕事が出来たことへの感謝の挨拶があって乾杯、お互いに一年を振り返るにぎやかな歓談が続きました。初参加の女性から手品の披露があり、目をぱちくり白紙が1万円札に変わり、あつと驚きました。雨天と寒波の襲来で参加者が少なかつたことも幸いにして、楽しい歓談が進みました。大規模な取組みも必要だけれど、適当に納まる事業も無理なく進むので良かったとの声が上がっていました。

12月10日府環境フェスタで本会が発表

水辺環境ネット事業を受けた5団体が取組みを報告します。午後1時からで2番目に登場します。ご参加ください

近鉄竹田駅下車 送迎バス有り

事務局会議から

10周年記念事業

軽自動車の購入決定

購入予定価格は50万円で平成11年生のスズキのワンボックスカーに決定しました。これまで常に人を運搬することが出来なくて機動力を発揮することが難しく、苦労をしてきました。これからは本会の車をフルに活用していくことも可能になります。これまでの不自由な課題を一つクリアすることになります。使用規定を決めて効果が上がる運用をしてゆきたいものです。この軽自動車購入当たって、善意のご寄付をいただきました。この場を借りて御礼を申し上げます。

京都環境フェス 2005 12月10日 里山の会活動発表

本会が本年取り組んできた8月28日の木津川本流での魚獲りと水質調査、そして10月11日に炭焼き体験を通して中山間地の現況と水を大切にする体験、そして11月23日に取り組んだ府営木津浄水場の見学と木津川上流伊賀市上野遊水地の関係者、巨椋池土地改良区などの水の取組みなどの経過を報告しました。本会からは山本理事長はじめ黒光、北波、中西、森さんなど多数の参加がありました。また白木さんがピオトープの関係で出演されていました。

感想として三つに分けて行事を実施したのは本会だけでした。それぞれの関連性が発表を聞いてよくわかった。との感想が寄せられていました。

木津川植生環境維持作業

12月8日から12日までに御幸橋から神矢樋門までの刈り草が除去されました。この冬一番の寒波襲来で非常につめたい強風が吹き付ける土手での運び出し作業でした。本当に寒い中ご苦労様でした。残る玉水橋までの運び出しは16日午前9時に神矢樋門集合で行います。お手伝いください、午前中で終了の予定です。午後の部は木津川マラソン駐車場の草刈りを行います。(作業時間2時間の予定)

京都府の17年度生物多様性保全推進事業に応募しました。

私たちはこれまで木津川の植物を中心に観察調査を行ってきました。この結果をさらに徹底的に調査して完璧な資料にするために申請を行いました。そしてこれらの調査資料から保全対策の方法を見つけ出すために検討会議を実施して提言を行いたいと希望してきました。今回絶好のチャンスが訪れました。この調査に対して京都府の事業が紹介されました。応募することに事務局で決定され、早速申請をすることになりました。その折には皆様のご協力を説にお願いいたします。

七草摘み乙女の衣装の試作始まります。

14日の事務局会議で10周年記念事業に決定された乙女の衣装を作ろうと予算化がされました。このままでは一歩も足が出ない結果になるので、とにかく一着作ることにしました。皆様のご協力をお待ちしております。(16日に作ってみます)

尾根筋ハイキングの高船集落コース案内の大看板(高さ4m)出来上がる

設置は金曜日 午後1時高船バス停集合(所要時間60分)お手伝いお待ちしております。

新春一番の取組み

七草摘みの乙女の衣装が出来上がる

冬の野原で乙女が思う人のために若菜を摘むとき袖に雪が降りかかると呼んだ歌を元にして、ぜひとも乙女の衣装を着た美女に七草を摘んでいただこうと長年アイデアを温めてきました。今年設立10周年の記念事業として、衣装づくりを取り上げました。丁度お知り合いの奥さんから原材料を提供いただき、少し改良して乙女の衣装が二人分出来上がりました。薄いピンクと薄紫の大変美しい着物になっています。中西・北波・森さんが散々知恵を絞って、試着品を完成させていただきました。当日が楽しみです。七草摘みは1月6日金曜日午前10時集合 木津川左岸・田辺木津川運動公園 参加費500円
七草摘みと七草のおはなし、七草粥を食します。ご来場をお待ちしています。

冬の昆虫観察会オオムラサキの調査

12月25日 午前10時 普賢寺小学校前集合
参加費500円
エノキにまつわりつく葛が繁茂してエノキが樹勢を失い始めているものもあります。できればこのくずを取り除く作業も行ってみたいと思います。これまで6年間生息調査を行ってきました。エノキの葉の裏で越冬する貴重な国蝶オオムラサキの幼虫を発見することが出来れば感動的です。今年も確認できればと思います。

黒豆味噌作り 参加者募集

1月15日 日曜日 午前7時 新田辺駅出発
帰着午後8時予定
参加費8500円(味噌10kg込み) 持参品についてはお問合せください 0774-64-4183 まで
先着10名まで受付ます 行き先 夜久野町末掘島農園 順調に出来上がりますと夜久野温泉入浴の時間が取れそうです。文化祭で大人気の製品です。一度試食された皆さんは大変気に入ってくださっています。

炭焼き体験学習参加者募集

参加費 3000円 炭お土産(4.5kg)
初日 1月22日 日曜日 午前8時~午後2時
小雨決行 原木の切出し作業
二日 2月19日 日曜日 午前8時~午後2時
小雨決行 炭の窯だし 着火作業
先着20名まで受付ます 防寒対策を十分に申し込みは0774-64-4183・FAXで
山城地域では、一般社会人を受け入れて炭焼き体験を継続して取り組んでいるのは数少なくなっています。ぜひ一度はご参加ください。

木津川の植生維持管理作業

刈り草の運び出し完了 (25箇所)
私たちがこれまで確認した絶滅危惧植物の保全を目的に25箇所の管理を行っています。冬になり今現在はきれいに枯れ草を刈りました。そして刈り取った草を完全に持ち出しました。焼却するとその部分に灰が残りまた放置すると徐々に養分が蓄積され、生育する植物が変化をしていきますので、完全に持ち出しています。春になると新芽が顔を出します。そのときが楽しみです。寒い寒風吹きすさぶ中作業をしてくださった大村さん森島さん本当にご苦労様でした。

尾根筋ハイキングコース

尾根筋ハイキングコースのうち少しわかりにくいところが高船でした、そこに高さ4mの看板を設置しました。看板の文字は藤ノ井さん、掘り方と取り付けは森島さんがお手伝いいただきました。これで一番の難所にコース案内が出来て多少わかりやすくなったのではないかと思います。ご協力いただきました岡田様有難うございました。

年末の仕事お手伝い募集

27日 午前中事務所の掃除
午後淀川河川事務所との打合せ
28日 ハイキングコース年末点検
全コース二組に分かれて実施
23日 午前10時木津川植生管理地、杭打ち明示作業

9匹のオオムラサキ幼虫 11匹のゴマダラチョウ など8年間で最大数の確認 京都新聞で大報道される

厳しい寒さが続いていましたが、この日は中休みで本当に暖かな日差しで昆虫観察にはうってつけでした。午前10に集合お互いの自己紹介をして早速普賢寺川に沿って進みました。ルリタテハの成虫での越冬を確認するために皆さん一生懸命でした。大村さんの谷に入ってマイマイカブリを発見4cmはある大型でした。1mmぐらいのオオミドリシジミの卵を浅野君が発見しました。彼はこの発見で2度目だとか、なかなか見つけることが出来ない代物でした。その後それぞれが見つけた昆虫の名前を教えてくださいました。この谷ではササユリやリンドウやオミナエシがたくさん咲いていたとのこと、スミレは今も群生しているとのこと、そして赤いみごとなツルリンドウの実に出会いました。皆さんが出会えるものがたくさんあって前に進むことにはなりません。そこで時間を見計らって進むことにしました。すでに11時半でした。移動をして昼食にしました。ご飯を食べ終わるのももどかしく、オオムラサキの幼虫発見に腰を上げました。全部でエノキは10本ありますので、それぞれ手分けをして枯葉めくりをします。昨年は1匹でしたのに今年は最大数9匹の発見でした。そのうえゴマダラチョウの11匹も最大数でした。皆さん大喜びでした。そのうち2匹のオオムラサキと1匹のゴマダラチョウの幼虫を持ち帰り、北部住民センターで7日まで展示することにしました。その後は元のエノキに返すことにしています。一度ご覧になってください。

新春一番の取組み 七草摘み参加者募集

正月6日 金曜日 午前10時 田辺木津川運動公園集合 七草摘みとかゆを食します。
七草摘みのお話をお聞きします。講師は本会顧問の上島裕氏です。参加費500円
お土産に真竹のおわんを差し上げます。順番に乙女の衣装を着ていただいて記念写真を撮ります。
楽しい取組みです。

黒豆味噌作り 参加者募集

1月15日 日曜日 午前7時 新田辺駅出発
帰着午後8時予定
参加費8500円 味噌10kg 持参品についてはお問合せください 0774-64-4183まで
先着10名まで受付ます 行き先 夜久野町末掘島農園 順調に出来上がりますと夜久野温泉入浴します。文化祭で大人気の製品です。一度試食された皆さんは大変気に入ってくださっています。

炭焼き体験学習参加者募集

参加費 3000円 炭お土産(4.5kg)
初日 1月22日 日曜日 午前8時~午後2時 小雨決行 原木の切出し作業
二日 2月19日 日曜日 午前8時~午後2時 小雨決行 炭の窯だし 着火作業
先着20名まで受付ます 防寒対策を十分に申し込みは0774-64-4183・FAXで

里山05年10大ニュース 事務局かって選び

1 尾根筋ハイキングコースオープン 2 結成10周年講演会祝賀会開催 3 里山カレンダー発行 4 木津川での親子さかな獲り実施 5 親子わくわく自然教室に130人あつまる 6 オオムラサキメス2匹発見 7 尾根筋ハイキング案内大型看板3基設置 8 軽自動車購入 9 週間ニュース発行1周年となる 10 京都府から事業委託をされる 番外 ホームページ毎週更新 74週継続

年始の予定

4日 仕事始め 事務局会議 七草摘み前日準備、軽自動車披露式 5日 パソコンクラブ 京都府生物多様性保全推進事業申請、 6日 七草摘み、 10日 自治体挨拶周り、木津川マラソン第2回実行委員会、 11日 事務局会議、 12日 パソコンクラブ、15日 木津川マラソンリハーサル 16日 生物多様性保全事業第1回検討委員会、